ステイティム カセットオートクレーブ™

ステイティム 2000 G4　ステイティム 5000 G4

- 取扱説明書

95-113106 改訂 1.0 取扱説明書 ST2000/5000 G4. Copyright 2012 SciCan Ltd. 禁無断転載

EN13060 Fully Compliant

SciCan | Your Infection Control Specialist™

目次

1. はじめに 3

2. 重要な情報です 4
免責事項
乾燥パフォーマンス
ユニット概要 - ステイティム 2000 G4
ユニット概要 - ステイティム 5000 G4
タッチスクリーン概要
セットアップメニュー概要

3. ステイティムのセットアップ 10
ユニット設置と電源
ユニットの水平確認
排水ボトル接続
貯水タンクに水を入れる
ポンプ事前準備
時間設定
日付設定
言語設定
ユニット識別番号を割り当てる
ユーザIDおよびPIN設定
処理確認セットアップ
タッチスクリーンの表示テーマ変更
スクリーンセーバ遅延調整
スクリーンコントラスト調整
サウンドボタンオン/オフ
ボタンのビープ音量調整
ステイティム G4ウェブポータルセットアップと利用

4. カセット使用と器具の準備 20
ステイティム 2000 G4 カセット使用
ステイティム 5000 G4 カセット使用
ステイティム 5000 G4 に乾燥プレートを使用する
器具の準備と設置
生物学的・化学的指標
器具の重量ガイド

5. ステイティムの使用 25
サイクル選択
サイクル稼動
サイクル停止

6. サイクル情報保存と閲覧 33
タッチスクリーンによるサイクル情報取得
USBデータバックアップによるサイクル情報取得

7. 情報のプリントアウト 34
プリンタ接続
プリント設定
外部プリンタと仕様

8. ステイティムのメンテナンス 35
カセットクリーニング
貯水タンクフィルタのクリーニング
貯水タンクフィルタのクリーニング
外部表面の洗浄
ステイティム 2000 G4 エアフィルタ交換
バクテリアトラップエアフィルタ交換
カセットのパッキン交換
水位保持
水質確認
予防保全スケジュール
ユニットの発送 / 貯水タンクの排水

9. ステイティムのトラブルシューティング . 41

10. テスト手順 45

11. 交換部品の注文 47

12. 仕様 48

一般的名称:
小型包装品用高圧蒸気滅菌器 38671020
小型未包装品用高圧蒸気滅菌器 40547020

薬事認証番号: 221AABZI0019600

管理医療機器(クラスⅡ) 特定保守管理医療機器

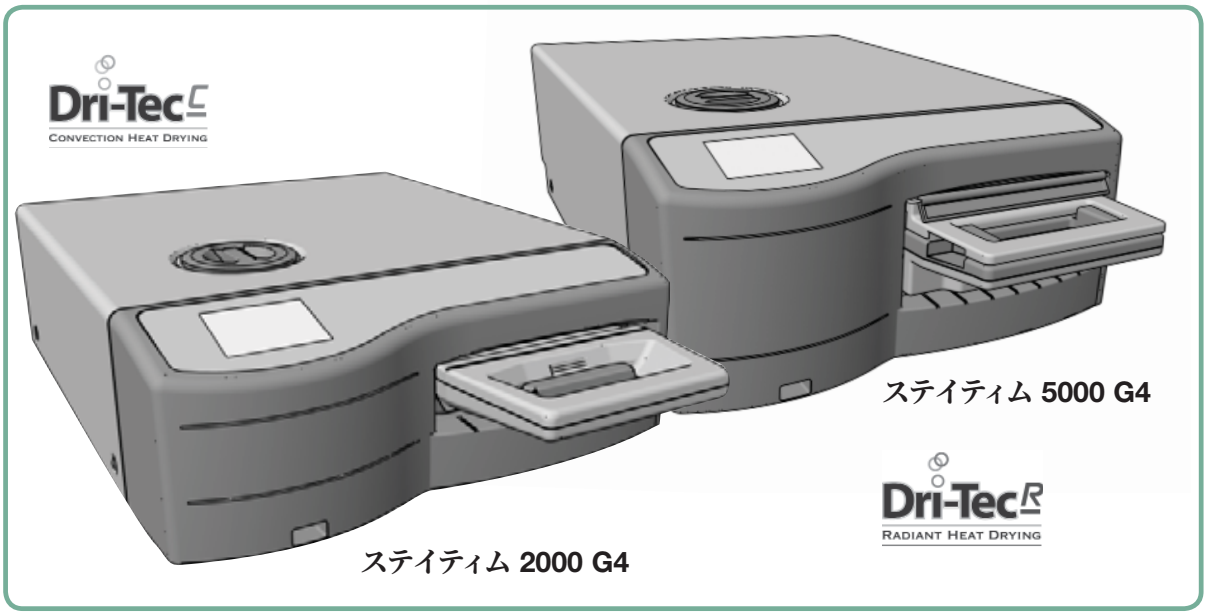
DMAH(選任製造販売業者):
株式会社コーブリッジ
東京都千代田区平河町2-7-2
電話番号: 03-5275-3578
FAX: 03-5275-3577

STAT*IM*カセットオートクレーブおよびSTATIMはSTAT-DRI, Your Infection Control Specialistの登録商標であり、DriTecロゴはSciCan Ltd.の登録商標です。本取扱説明書に記載されているこれら以外の商標はそれぞれの権利者の所有物です。

メンテナンスや修理のお問い合わせ先:
カナダ 1-800-870-7777
アメリカ: 1-800-572-1211
ドイツ: +49 (0)7561 98343 - 0
海外: (416) 446-4500
メールアドレス: techservice.ca@scican.com

製造元:
SciCan
1440 Don Mills Road,
Toronto ON M3B 3P9
カナダ
電話番号: (416) 445-1600
Fax: (416) 445-2727
フリーダイヤル: 1-800-667-7733
CE 0123

1 はじめに



ステイティムカセットオートクレーブをお選びいただきありがとうございます。本機器は同種機器の中でも最高品質を誇ります。ステイティムはカウンタートップに設置できるコンパクトサイズのユニットでありながら、蒸気滅菌における様々なニーズに対応した複数の滅菌サイクルをご提供します。ステイティム G4カセットオートクレーブはEN13060に準拠しています。

ステイティムの設置方法、動作および修理に関する情報が本取扱説明書に記載されています。安全で、問題発生のない長期動作を実現するために、ご利用の前に必ず使用方法を確認し、今後のために本説明書を保管してください。製品の設計意図に沿った動作のためにも、メンテナンスおよび部品交換の手順は慎重に守ってください。本取扱説明書の内容はステイティム製品の変更や改良に応じて予告なく変更する可能性があります。

ステイティムは歯科用および医療用器具の滅菌に適しており、蒸気による滅菌を行います。ステイティムは液体、布製品、医用生体廃棄物、およびその他蒸気による滅菌に適さない物品の滅菌は行えません。これらの物品を処理した場合、不完全な滅菌および/あるいはオートクレーブへの損壊を招く可能性があります。器具が蒸気滅菌に適しているか否かの詳細情報は製造元にお問い合わせください。

付属電源コードは本機器にのみ使用し、他の機器には使用しないでください。

2　重要な情報です

2.1 免責事項

ステイティムには蒸気処理した蒸留水のみをご使用ください。脱イオン化、脱塩、あるいは特殊濾過水は使用しないでください。水道水は絶対に使用しないでください。

ステイティムのパーツ提供、修理、メンテナンスは必ず有資格の人員のみが行ってください。SciCanは第三者によるステイティムのメンテナンスあるいは修理、あるいは第三者の製造した機器またはパーツの使用・併用によって発生した偶発的、特別、あるいは間接的な損害については利益の消失、経済的損失、傷害などを含めて一切責任を負いません。

ユニットのカバーを外したり、キャビネットの穴や開口部から何かを差し込んだりしないでください。ユニットの損壊を招いたり、ユーザに危険が及ぶ可能性があります。

重要：滅菌手順の確認については居住地の諸条例に従ってください。

乾燥パフォーマンス

ステイティム 2000 G4および 5000 G4は包装あり・なし器具の完全な滅菌ソリューションをご提供します。SciCan Dri-Tec乾燥テクノロジーによる迅速な滅菌と迅速な乾燥を実現しました。

ステイティム 2000 G4は滅菌フェーズの後に残った熱を対流させて器具を乾燥しています。熱はユニット内で対流してカセットに送られ、ステイティムのカセットに適切に配置された器具が迅速に乾燥します。

ステイティム 5000 G4は滅菌フェーズで発生させた熱を乾燥プレートに吸収させます。乾燥プレートに送られた熱は直接器具に放射され、ステイティムカセットに適切に配置された器具の更に加速した迅速な乾燥を可能にします。

カセット内の器具の適切な配置および乾燥プレートについては本取扱説明書をご参照ください。(ステイティム 5000 G4)カセットチェンバーに器具を適切に配置する手順を遵守することで、迅速な乾燥が実現できます。

2.2 ステイティム 2000 G4 — ユニット概要

1 LCDタッチスクリーン
2 貯水タンクキャップ/水フィルタ
3 USBポート
4 電源スイッチ
5 電源ケーブルポート
6 水平設置フィート
7 イーサネットポート
8 排気チューブポート
9 コンプレッサ
10 カセット
11 生物フィルタ
12 RS232ポート

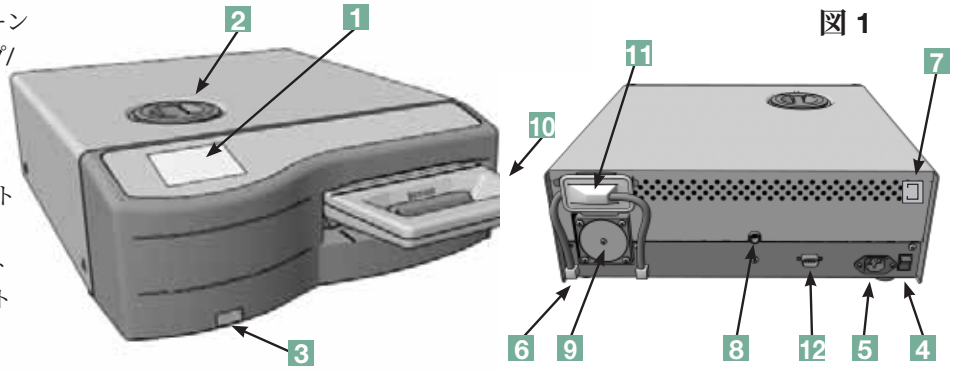


図 1

以下のマークが本書の余白に記載されています。

ユーザに危険が及ぶ可能性があります。

機械的不良に繋がる可能性があります。

重要な情報です。

以下のマークがユニットに表示されます:

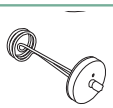
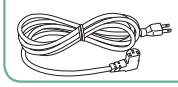
注意:表面が高温になり、熱い蒸気が出ます。

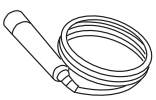
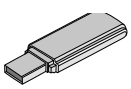
注意:詳細はマニュアルをご確認ください

注意:感電の危険があります。修理前に必ず電源の供給を止めてください。

蒸気処理蒸留水のみ

ステイティム 2000 G4は納品された時点で以下のパーツが含まれています。含まれていないパーツがある場合は直ちに代理店にご連絡ください。

	カセットトレーおよび蓋
	器具ラック
	排水ボトル
	**ボトル蓋パッキン**
	チューブ設置ハードウェア
	**電源コード**

	取扱説明書
	排気チューブ
	STAT-DRI
	**P.C.D. + 20 SciCan滅菌エミュレータ**
	**USBメモリスティック**

2.2 ステイティム 5000 G4 — ユニット概要

1 LCDタッチスクリーン
2 貯水タンクキャップ/水フィルタ
3 USBポート
4 電源スイッチ
5 電源ケーブルポート
6 水平設置フィート
7 排気チューブポート
8 生物フィルタ
9 カセット
10 RS232ポート
11 イーサネットポート

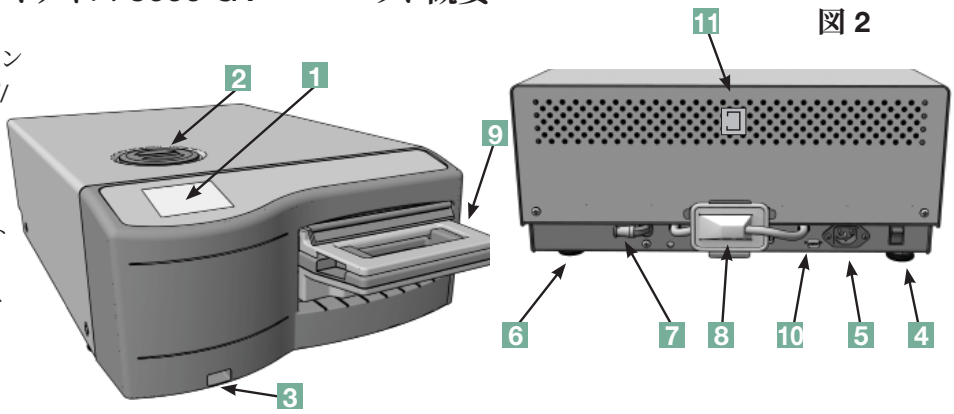


図 2

以下のマークが本書の余白に記載されています。

ユーザに危険が及ぶ可能性があります。

機械的不良に繋がる可能性があります。

重要な情報です。

以下のマークがユニットに表示されます:

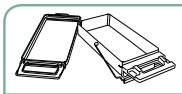
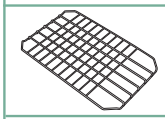
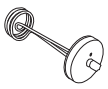
注意:表面が高温になり、熱い蒸気が出ます。

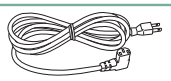
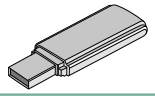
注意:詳細はマニュアルをご確認ください

注意:感電の危険があります。修理前に必ず電源の供給を止めてください。

蒸気処理蒸留水のみ

ステイティム 5000 G4は納品された時点で以下のパーツが含まれています。含まれていないパーツがある場合は直ちに代理店にご連絡ください。

	**カセットトレーおよび蓋**
	**包装なし器具ラック**
	排水ボトル
	**ボトル蓋パッキン**
	チューブ設置ハードウェア
	乾燥プレート付ラック

	**電源コード**
	取扱説明書
	排気チューブ
	STAT-DRI
	P.C.D. + 20 SciCan滅菌エミュレータ
	**USBメモリスティック**

2.4　タッチスクリーン概要

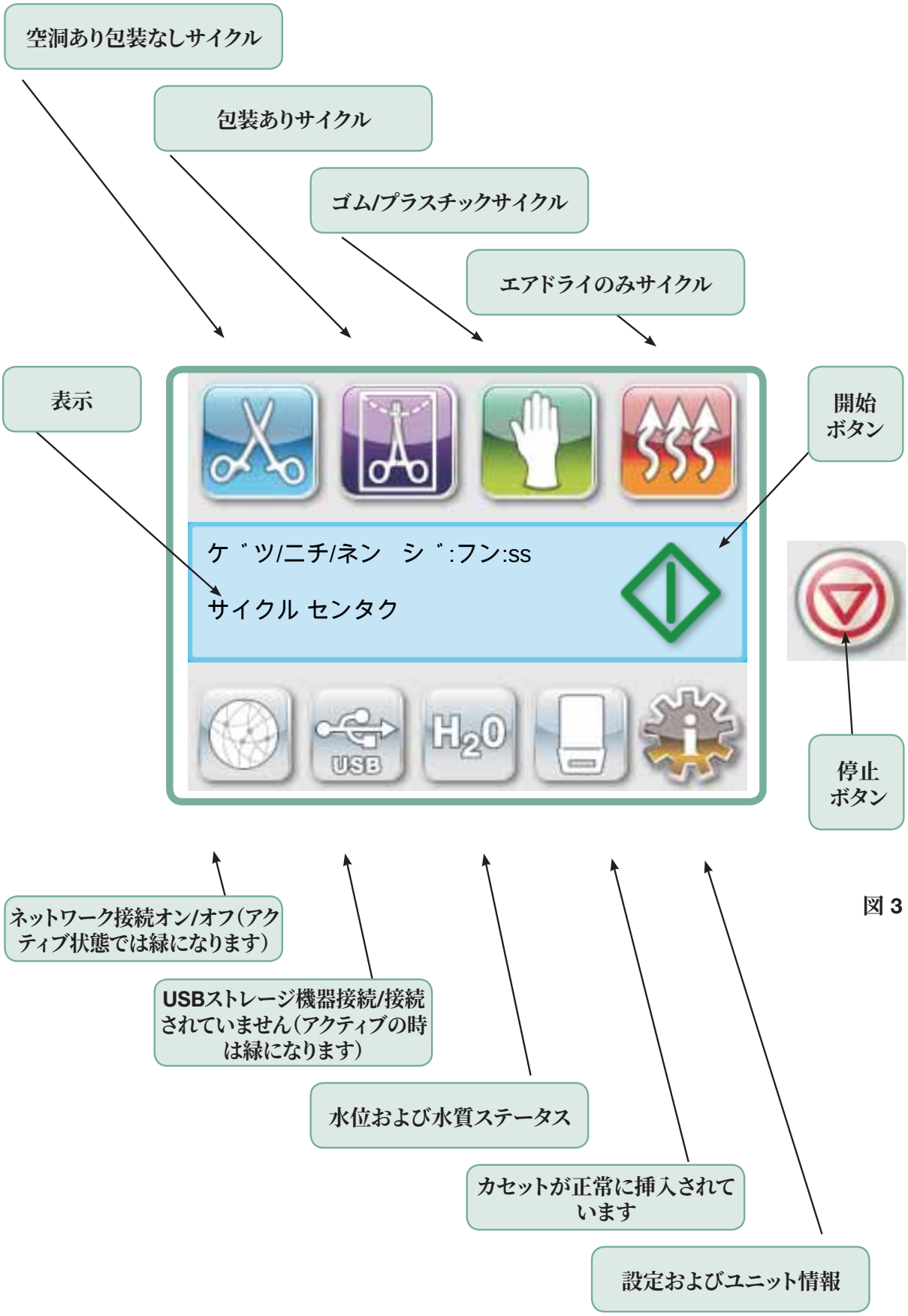
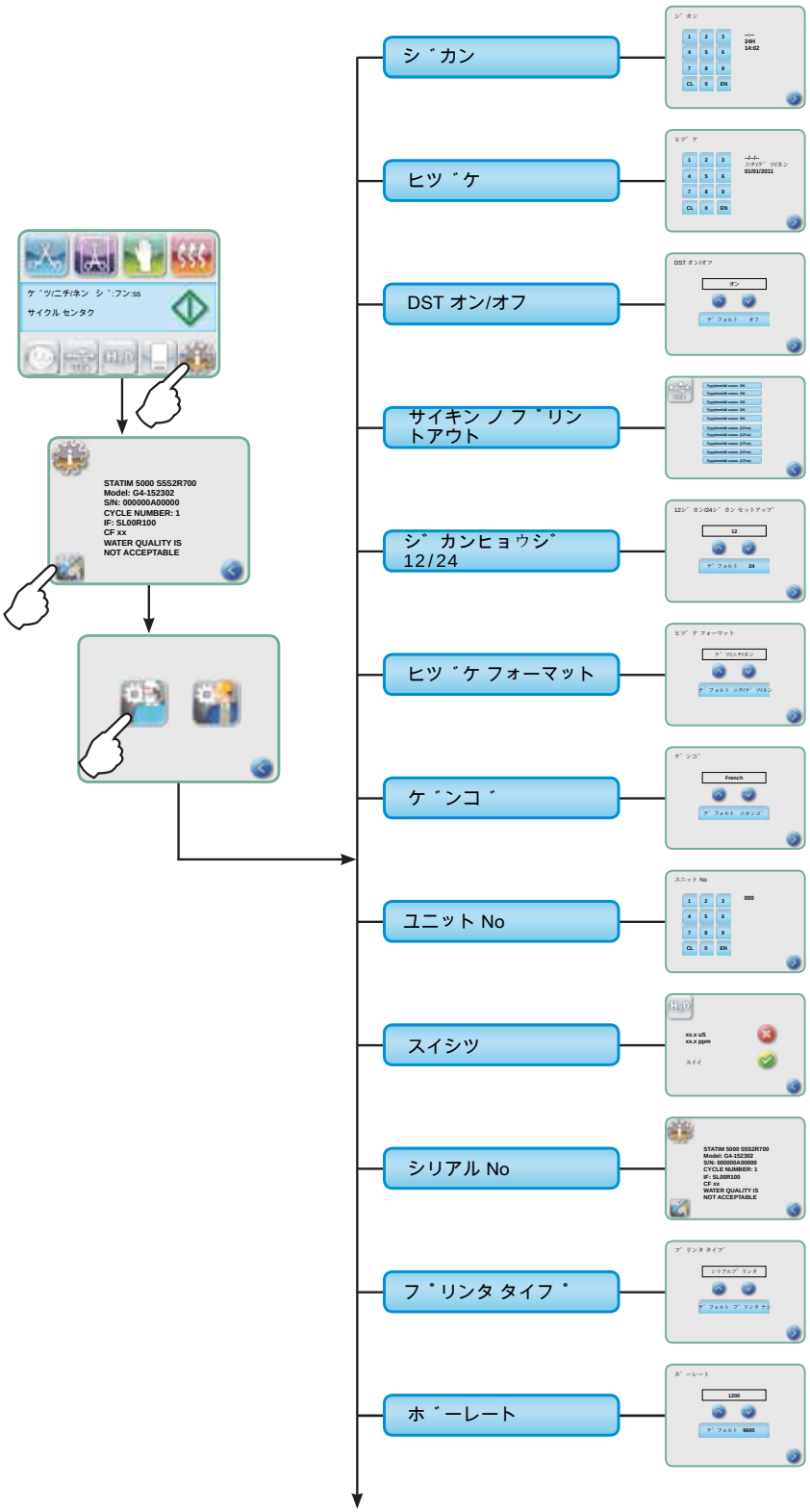
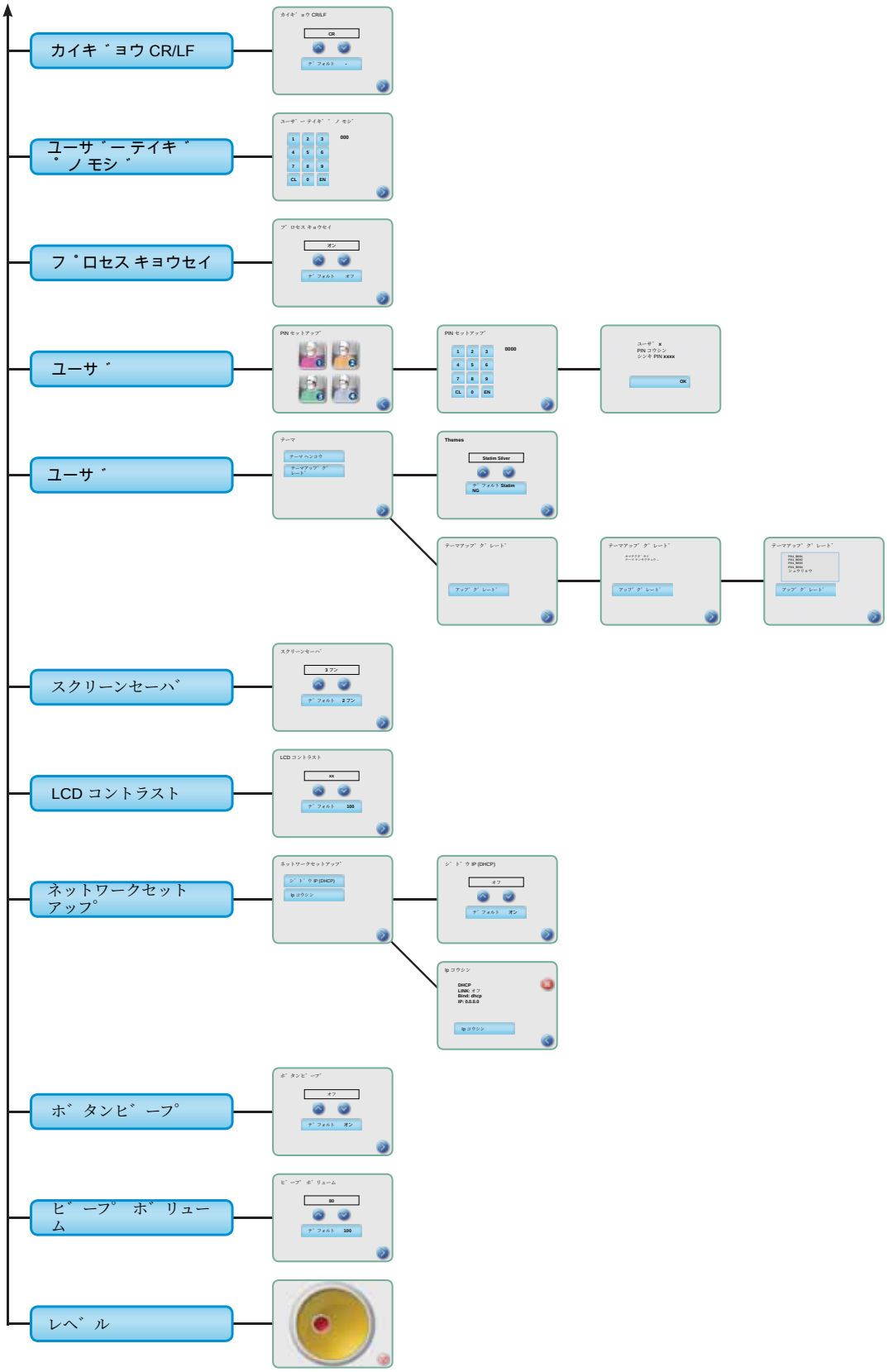


図 3

2.5　セットアップメニュー概要



2.5 セットアップメニュー概要 続き



3　ステイティムのセットアップ

3.1 ユニット設置と電源

ユニット設置

ステイティムの稼動にあたっては複数の要素が性能に影響することがあります。これらの要素を吟味して適切な設置場所を選んでください。

- **温度と湿度**

ステイティムを直射日光の当たる場所や熱源（通気孔やラジエータ等）の近くに設置しないでください。推奨する動作温度は 15-25℃、湿度は 25-70%です。

- **配置**

ステイティムの通気孔や開口部は塞がず、物を置かないようにしてください。ユニットの上部、横、後ろから壁や天井まで最低 50 mmのスペースを確保してください。必要スペースの詳細については仕様をご確認ください。

- **換気**

ステイティムは埃のないきれいな環境でご使用ください。

- **作業スペース**

ステイティムは平らで水平な防水スペースでご使用ください。傾いた場所では絶対に使用しないでください。

- **電磁環境**

納品されたステイティムは電磁環境水準の試験に合格しています。ユニットからは放射線を放射していませんが、放射している他の機器の影響を受ける可能性があります。動作を妨害する可能性のある機器の近くには置かないでください。

- **電源の接続**

ステイティムの裏ラベル表示の電圧に応じた、適切にアースされた電源を使用してください。タコ足配線は避けてください。サージ電圧の電源コードを利用する場合はステイティムは一台のみ接続してください。

ユニットの電源を点ける

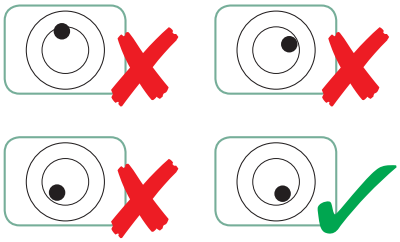
ステイティムの電源を点けるには、ユニット裏側のAC差込口にコードを差し込んでください。電源スイッチがオフになっていることを確認してから電源コードを電源に差してください。

3　ステイティムのセットアップ

3.2 ユニットの水平確認

ユニットをカウンターに置く場合、4本の足が完全に設置し、置き場所が安定していることを確認してください。ユニットが揺れ動くことを防ぎます。ユニットが適切に排水されるよう、設定メニューから水平確認のバブル（水泡）機能を使って水平度を確認して調整してください。メインスクリーンから水平確認バブルへのアクセス手順：

1.
2. レベル にスクロールして選択してください。
3. 水平確認フィートを動かしてバブル位置を調整してください。バブルが下部右側のターゲット内に入るよう動かしてください。これによりユニットが適切に排水できます。停止を押して終了し、サイクル選択メニューに戻ってください。ユニットが水平に置かれている時はバブルレベルが赤から緑になります。



3　ステイティムのセットアップ

3.3 排水ボトル接続

排水ボトル 1 はカセットから排水された蒸気を集めるために利用されます。次の手順でステイティムに排水ボトルを接続してください（図4参照）

1. 排水チューブ 2 をユニット裏のはめ込み口 3 に差し込み、軽く引いてしっかりはまっていることを確認してください。
2. チューブを適切な長さに切り、排水ボトル蓋をボトルに置いてください 4 。
3. チューブの先端をボトルの蓋の孔に差し込んで、蓋を閉めてください。排水チューブを巻かないでください。
4. 排水ボトルから蓋と銅コンデンサコイル部品 5 を外してください。蓋とコイルは一緒に外れてきます。
5. 排水ボトルの最低水量ラインまで水を入れ、蓋と銅コンデンサを閉めてください。悪臭や内容物の退色を防ぐため、排水ボトルは頻繁に空にしてください。（少量の塩素を含まない殺菌剤など、製造元の指示に従った溶液を排水ボトルの水に足すことで改善できます）最低でも貯水タンクに水を追加する度に排水ボトルを空にしてください。
6. 排水ボトルはユニット近くに置いてください。排水ボトルはユニットの下に置いてください。カウンターに穴を開けてチューブを通し (直径8 mm) 付属のナイロンクランプで止めてください。

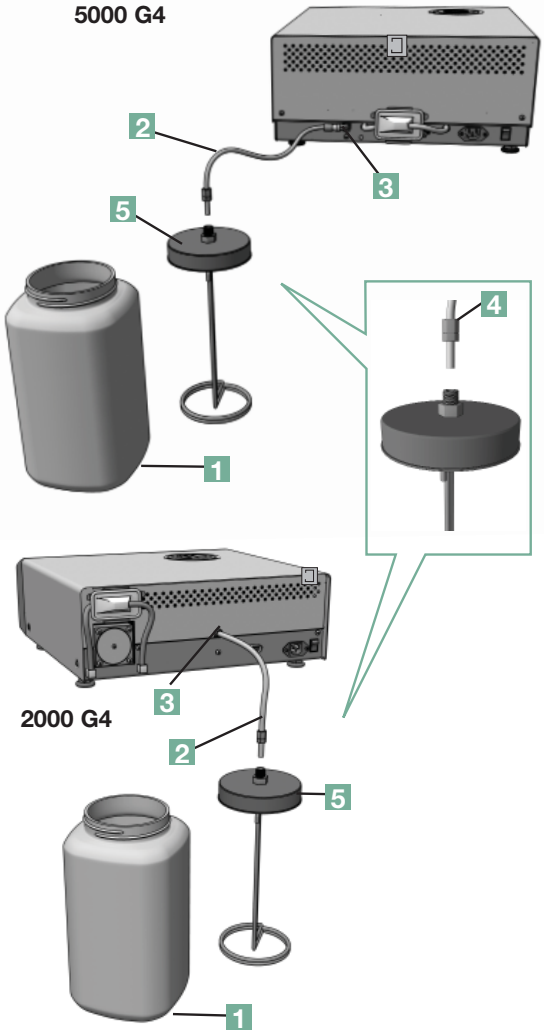


図4

3　ステイティムのセットアップ

3.4 貯水タンクに水を入れる

貯水タンクに水を入れる際は蒸気処理した溶解固形物が5ppm以下の蒸留水（伝導率10 µS / cm未満）のみを使用してください。他の水源に含まれる不純物や添加物はLCDの表示にエラーが出ることがあります。貯水タンクの水追加手順 (図5):

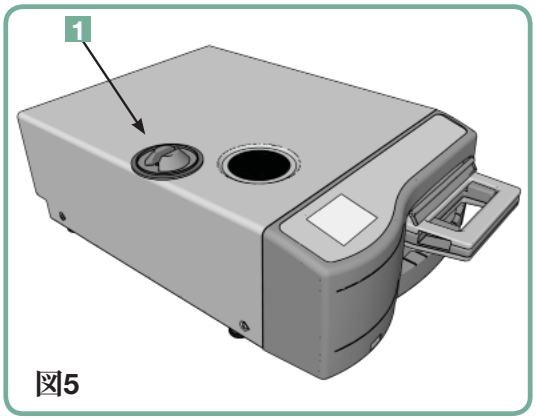


図5

1. 貯水タンクキャップ外してください 1 。
2. 蒸気処理した蒸留水を貯水タンクにほぼ一杯になるまで入れてください（最高4L）。水がこぼれないようロウトを使用してください。
3. キャップをしっかり閉めてください。

3.5 ポンプ事前準備

ステイティムポンプの事前準備手順:

1. ユニットを作業スペースの端に移動してください。前面の水平フィートは端から約12 mmの位置になるようにしてください。
2. ユニットの左端を持ち上げて排水チューブ 2 をユニット下部のクリップから外してください。
3. 排水チューブを外側に出し、容器に入れてください。
4. 貯水タンクを蒸気処理した蒸留水で満たしてください。
5. 排気チューブの端からプラグ 3 を外し、30秒間貯水タンクから吸い上げた水をチューブから容器に送ってください。水が順調に出るようになったら、ストッパーをつけてください。
6. ユニットの左端を持ち上げてチューブを下部のクリップに戻してください。チューブの余りは後ろに回してください。

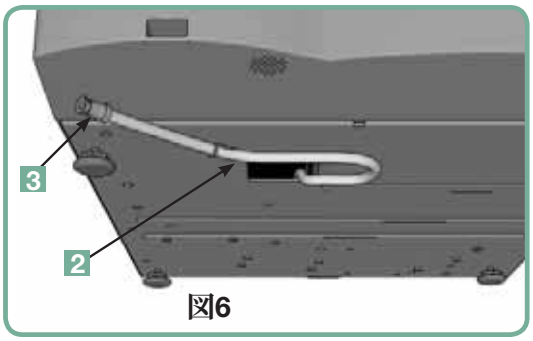


図6

! 排気チューブのプラグがきちんとはめ込まれているのを確認してください。

3.6 時間設定

1.
2. 時刻 にスクロールして選択してください。
3. 時間スクリーンからキーパッドを使って時間を設定してください。EN を押して保存し、 でセットアップメニューに戻ってください。
4. ユニットを 12 でフォーマットに変更するには（デフォルトは24時間表示です）セットアップメニューから時間 12/24にスクロールし、12に移動してください。 をクリックして保存し、セットアップメニューに戻ってください。
5. 夏時間（DST）を有効にするには（ユニットをネットワークに接続している場合は夏時間設定を推奨します）セットアップメニューからDSTオン/オフに スクロールして選択してください。 でDSTオン/オフから選択して をクリックして保存し、セットアップメニューに戻ってください。

3.7 日付設定

1.
2. 日付 までスクロールして選択してください。
3. 日付スクリーンからキーパッドを利用して日付を設定してください。EN を押して保存し、 でセットアップメニューに戻ってください。
4. 日付表示のフォーマットを変更するには、セットアップメニューに戻って で日付フォーマットまでスクロールしてください。選択し、プロンプトに従って日付表示に希望するフォーマットを選択してください。 をクリックして保存し、セットアップメニューに戻ってください。

3.8 言語設定

ステイティム のメッセージは複数の言語で表示できます。言語変更手順：

1.
2. 言語 にスクロールして選択してください。
3. 言語画面で を押して言語一覧をスクロールしてください。希望する言語に移動したら をクリックして選択し、セットアップメニューに戻ります。

3.9 ユニット識別番号を割り当てる

1.
2. ユニット番号 にスクロールして選択してください。
3. キーパッドを使って最高3桁までのユニット識別番号を割り当ててください。EN をクリックして保存し、 でセットアップメニューに戻ってください。

3.10 ユーザIDおよびPIN設定

1.
2. ユーザ までスクロールして選択してください。
3. PINセットアップスクリーンから最高4つまでのPINを設定できます。ユーザアイコンの1つを選んでPINを割り当ててください。
4. キーパッドを使って4桁までのPINを設定し、EN を押して保存して、 で確認画面に移動してください。

5. 確認スクリーンの表示内容に問題がなければOKを押してPINユーザスクリーンに戻ってください。修正するには変更したいPINユーザを選択して蒸気手順を繰り返してください。

3.11 処理確認セットアップ

処理確認が有効な状態では、ユーザはサイクルの開始時と終了時にPINを入力する必要があります。処理確認を有効にするにはユーザIDとPINを割り当てる必要があります。ユーザIDとPINをセットアップするには3.10ユーザIDおよびPINの設定セクションをご参照ください。処理確認を有効にする手順:

1.
2. 処理確認 にスクロールして選択してください。
3. で処理確認機能オン/オフを選択してください。クリックして保存し、 でセットアップメニューに戻ってください。

注意: 処理確認が有効な状態でも、サイクルの停止とカセットの取り外しにはPINは不要です。ただし、登録ユーザ以外がサイクルを中断した、あるいはカセットを外したというサイクルデータは記録されます。

3.12 タッチスクリーンの表示テーマ変更

ステイティム G4タッチスクリーンテーマ(アイコンや背景色変更)はプリセットオプションのいずれかに変更できます。また、ユーザ側でUSBポートを通してアップロードした追加テーマがSciCan側で有効化され次第使用できます。テーマの変更手順:

1.

2. テーマ までスクロールして選択してください。

3. この画面から テーマ変更 を選択して既存のテーマメニューを閲覧するか、テーマアップグレード で新しいテーマにアクセスし、USBポートを通してロードすることができます。

4. テーマ変更 画面から でオプションをスクロールできます。スクロールするごとにテーマがタッチスクリーンに表示されます。 をクリックして保存し、セットアップメニューに戻ってください。

5. SciCanから利用可能なテーマを更新するには、テーマをコンピュータのデスクトップにダウンロードしてポータブルUSBストレージ機器に保存してください。デバイスをステイティムのUSBポートに挿入し、テーマ更新スクリーンから アップグレード を押してください。

5.1 ユニットがファイルをUSBストレージ機器から直接ロードします。ファイルロード中はUSBストレージ機器を外さないでください(最長で10分程度かかることがあります)。完了するとスクリーンに「完了」メッセージが出ます。ロードした新しいテーマはテーマメニューからアクセスできるようになります。

5.2 をクリックしてテーマを選択し、セットアップメニューに戻ってください。

3.13 スクリーンセーバ遅延調整

操作していないタッチスクリーンでスクリーンセーバが動作するまでの時間を変更する
手順:

1.

2. スクリーンセーバ までスクロールして選択してください。

3. でコントラストオプションをスクロールしてください。希望する待機時間が表示されたらクリックしてください。 をクリックして保存し、セットアップメニューに戻ってください。

3.14 スクリーンコントラスト調整

ステイティム G4 タッチスクリーンは大多数の滅菌センターで利用される平均的数値に較正されています。コントラストの調整が必要な場合の手順:

1.
2. 液晶コントラスト までスクロールして選択してください。
3. でコントラストオプションをスクロールしてください。希望するコントラストが表示されたらクリックしてください。 をクリックして保存し、セットアップメニューに戻ってください。

3.15 サウンドボタンオン/オフ

ステイティム G4 はボタンを押すとビープ音が鳴るように設定されています。ボタン音を消す手順:

注意: ボタン音をオフにしても、警告音や通知音は消えません。

1.
2. ビープ音オン/オフ をスクロールして選択してください。
3. でオン/オフオプションをスクロールし、クリックして選択してください。 をクリックして保存し、セットアップメニューに戻ってください。

3.16 ボタンのビープ音量調整

ビープ音量調整手順:

1.
2. ビープ音量 までスクロールして選択してください。
3. で音量設定をスクロールします。希望する時間を選択してください。 をクリックして保存し、セットアップメニューに戻ってください。

3.17 ステイティム G4ウェブポータルセットアップと利用

ウェブポータルはあなたのネットワークとステイティムを繋ぎます。ファイアウォールで保護されているので、外部ユーザはアクセスできません。このユニット特有のリアルタイムのサイクル情報取得や滅菌記録のアーカイブ等を行います。ここから報告書の印刷やメール通知セットアップ、サイクル記録の検索等ができます。次のステップに従ってウェブポータルをセットアップしてください。

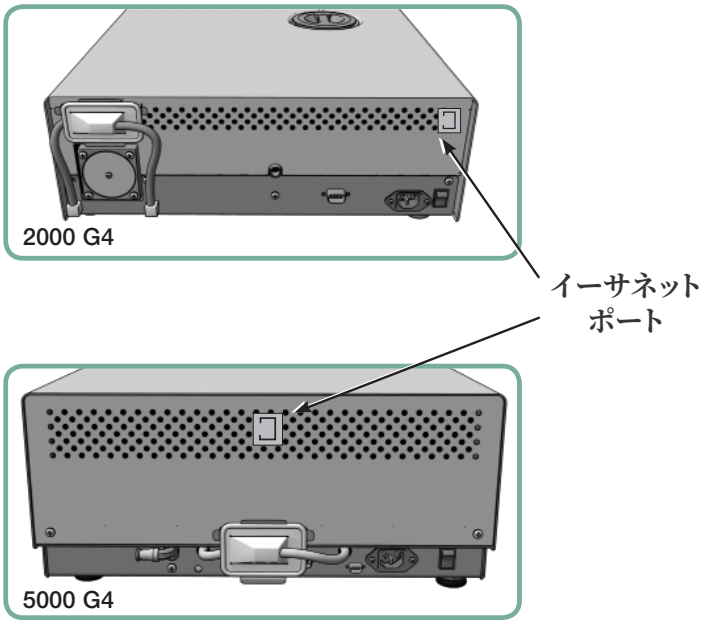
ネットワーク接続

ステイティム G4 はユニット裏に 10/100Base-T イーサネットポートがあります。

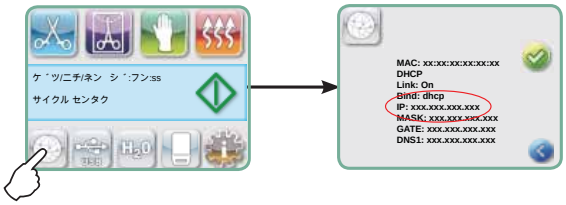
ルータを使用したステイティムのネットワーク接続手順:

1. ネットワークケーブルをユニット裏のイーサネットポートに接続してください（ポートについては次のセクションを参照してください）。ルータを使用している場合は、ルータが自動的にIPアドレスをユニットに割り当てます。IPアドレスが割り当てられると、ネットワークアイコン上のX印が消えます。

注意: ルータがなく、Windowsネットワークシェアリングを利用する場合、専用あるいは固定IPアドレスを割り当てる必要があることがあります。固定IPアドレスの割り当てについてはネットワーク管理者にご確認ください。

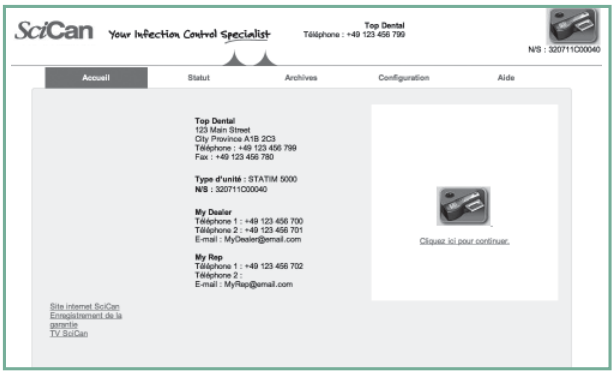


2. メイン画面からネットワークアイコンを　　押してください。ネットワーク画面に、IPアドレスを含むステイティムの接続状況情報が表示されます。



3. タッチスクリーンに表示されているIPアドレスをブラウザに入力してユニットのウェブポータルにアクセスしてください。IPアドレスが割り当てられると、ネットワークアイコンの上のX印が消えます。ネットワークアイコンがアクティブな状態の時（メール送信中など）はアイコンが緑色になります。

注意： 接続時間はご利用のネットワーク速度によって異なります。また初回接続時は時間がかかることがあります。



ステイティム G4の無線ネットワークへの接続

ステイティム G4のイーサネットポートにワイヤレスブリッジ、またはアクセスポイントに接続することで、ワイヤレス接続の設定ができます。本取扱説明書発行時点で、SciCanではD-Link® DAP-1522 Xtreme N® Duoワイヤレスブリッジのご利用を推奨しています。ワイヤレスブリッジのセットアップについてはネットワーク管理者にご確認ください。

4　カセットと準備器具の使用

4.1 ステイティム 2000 G4 カセット使用

サイクル後にカセットを外す際は十分に気をつけてください。金属部分が高温になっており、熱い水蒸気が吹き出てくることがあります。

カセットを開ける:

1. 親指をカセットラッチの内側に差し込んでカセット 取っ手を押さえてください。
2. カセットラッチを下方に押し込んでください。
3. カセットの蓋を上に開いてヒンジを外してください。
4. 蓋は外側を下にして置いてください。

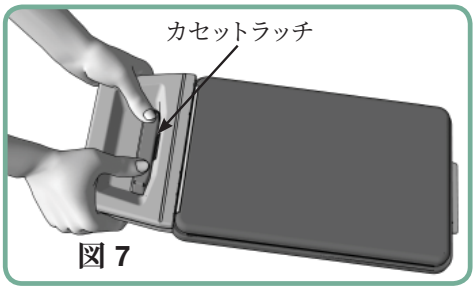


図 7

カセットを閉じる:

1. カセット蓋のヒンジタブを下トレーのヒンジ位置に合わせてください。
2. ヒンジタブが引っかかっていることを確認しながら蓋を閉めてください。

ステイティム 2000 G4へのカセット取り付け:

1. カセットの後ろ側からユニットに差し込んでください。
2. カチッと音がするまでゆっくり中に差し込んで、LCDアイコンが から に変わるのを確認してください。

絶対にカセットをステイティムに無理やり押し込まないでください。故障の原因になります。

注意:カセットがユニットに正しく差し込まれていない場合はメインメニュースクリーンに が表示されます。

カセットを外す:

1. ハンドルを両手でつかみ、ユニットから引き抜いてください。
2. カセットをユニットから完全に取り外し、安定した場所に置いてください。

カセット解体手順:

使用していない時はカセットは解体してください。カセットを取り外すには、取っ手を持ち、15 mm から 20 mm (½ から ¾ インチ)の隙間が ステイティムとカセット取っ手の間にできるまでカセットを引き出します。

STAT-DRI™ 乾燥剤使用

カセットの内部表面をユニット付属のSTAT-DRI乾燥剤で処理することで乾燥プロセスが促進されます (交換ボトルはSciCanから注文できます。注文番号2OZPLUS、8OZPLUST、32OZPLUS)。

4.2 ステイティム 5000 G4 カセット使用

サイクル後にカセットを外す際は十分に気をつけてください。金属部分が高温になっており、熱い水蒸気が吹き出てくることがあります。

カセットを開ける：

1. キャリーハンドル2を押してオープンポジションにしてください。
2. カセット1の取っ手の横に手を置いてください。
3. 人差指をスロットに差し込んで、親指パッドに親指を置いてください。
4. 親指で押して人差し指で蓋を上に持ちあげてください。
5. カセットの蓋を上に開いてトレーから外してください。蓋は外側を下にして置いてください。

カセットを閉じる：

1. カセット蓋のヒンジタブをトレーのヒンジ位置に合わせてください。
2. ヒンジタブが引っかかっていることを確認しながら蓋を閉めてください。
3. キャリーハンドル2をクローズドポジションにしてください。

ステイティム 5000 G4へのカセット取り付け:

1. カセットの取っ手を片手で持ち、図8のようにもう一方の手でキャリーハンドルを持ってください。

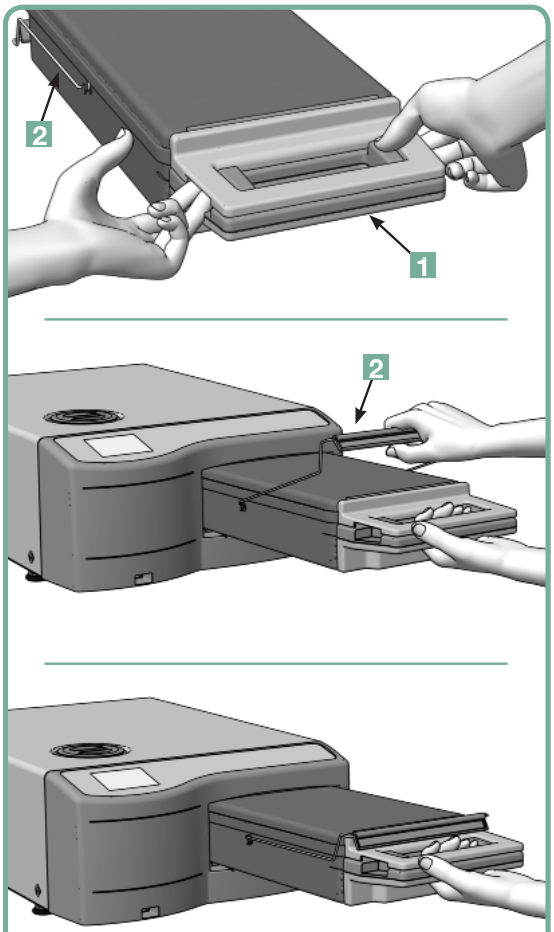


図 8

2. カセットの後方をユニットに差し込んで、キャリーハンドルをクローズドポジションにしてください。
3. カチッと音がするまでゆっくり中に差し込んで、LCDアイコンが から に変わるのを確認してください。

絶対にカセットをステイティムに無理やり押し込まないでください。故障の原因になります。

注意: カセットがユニットに正しく差し込まれていない場合はメインメニュースクリーンに が表示されます。

4　カセットと準備器具の使用

カセットを外す:

1. カセットの取っ手を片手で握り、ユニットから引き出してください。
2. カセットをユニットから取り出しながら、もう一方の手でキャリーハンドルを掴んで上に上げてください。
3. カセットをユニットから完全に取り外し、安定した場所に置いてください。

解体手順

使用していない時はカセットは解体してください。カセットを取り外すには、取っ手を持ち、15 mm から 20 mm (½ から ¾インチ)の隙間がステイティムとカセット取っ手の間にできるまでカセットを引き出します。

4.3 ステイティム 5000 G 4に乾燥プレートを使用する

ステイティム 5000 G4 カセットには2つのラックが付属しており、1つのラックには乾燥プレートが付いています。包装あり器具は乾燥を促進する為ラックに乾燥プレートを使用してください。

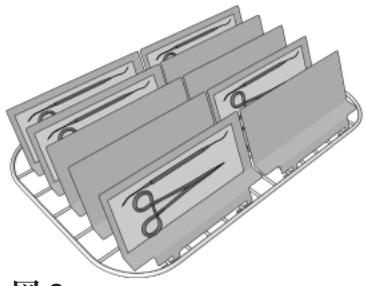


図 9

4.4　器具の準備と設置

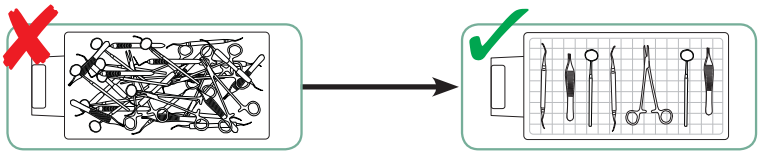
ステイティムに器具を入れる前に、製造元に再処理手順を確認してください。

器具の洗浄

カセットに入れる前に器具を全て洗浄してください。殺菌剤の残りやこびりついた固形物等があると滅菌処理が適切に行えなかったり、器具やカセット、ステイティムの破損の原因になることがあります。潤滑剤を使用した器具は拭き取り、カセットに入れる前に余分な潤滑剤は取り除いてください。

包装なし器具

包装なし器具はラックの上にできるだけ均等に隙間を開けて配置してください。

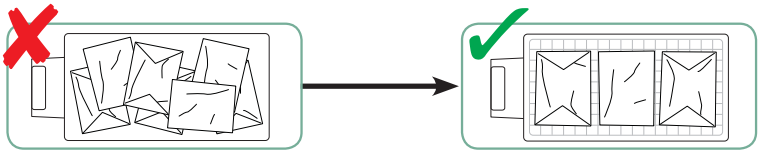


4　カセットと準備器具の使用

包装あり器具（1重包装）

製造元の指示に従って器具を1重のオートクレーブバッグに入れてください。包装あり器具がカセットの下から約6 mm / 0.25インチ浮くようにカセットのラックを調整してください。包装あり器具をラックに置く際には重ならないようにしてください。包装あり器具を取り扱う際には完全に乾燥していることを確認してください。

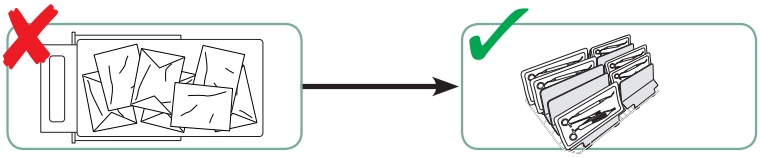
ステイティム 2000 G4の場合：



! ステイティムでは布包装は推奨していません。

SciCan ではEN 868準拠の紙/紙およびプラスチック/紙のオートクレーブバッグ使用を推奨します。蒸気が全体に行き渡るよう、器具は余裕を持ってバッグに詰めてください。

ステイティム 5000 G4の場合：



乾燥プレートを10枚取り付けた包装なし器具ラックにはオートクレーブバッグが10個設置できます。総重量が1.5kg（3.3ポンド）を超過しないよう注意してください。

ゴムおよびプラスチック器具

以下の素材については ステイティムで滅菌できます。

ナイロン、ポリカーボネート (Lexan™)、ポリプロピレン、PTFE (テフロン™)、アセタル(Delrin™)、ポリサルフォン (Udel™)、ポリエチレミド (Ultem™)、シリコンラバー、ポリエステル。

! ゴムやプラスチック器具をトレーに載せる際は、器具とカセットの間に隙間を作ってください。これにより水蒸気が器具の全体に行き渡り、適切な乾燥処理が行われます。

4　カセットと準備器具の使用

以下の素材については ステイティムでの滅菌処理は行えません：

ポリエチレン、ABS、スチレン、セルロース誘導体、PVC、アクリル(Plexiglas™)、PPO (Noryl™)、ラテックス、ネオプレン、および類似の素材

これらの素材を使用すると器具あるいは機器の故障や損傷を招くことがあります。使用している器具の素材や構成が不明な場合、ステイティムでの滅菌を行う前に必ず製造元に確認してください。

全ての器具

ステイティムは布や液体、医用生体廃棄物の滅菌には**使用できません**。サイクルの完全終了後、器具はユニットからカセットが取り外されるまで滅菌状態が保たれます。包装なし器具が外気に触れた時点で滅菌状態を維持できなくなります。滅菌状態で保存する場合、滅菌する器具を製造元の指示に沿ってオートクレーブバッグで包み、エアドライフェーズが完了するまで包装ありサイクルを実行してください。

ベストプラクティスのコツ: 器具（包装の有無に関わらず）は完全に乾燥してから取り扱いましょう。適切な滅菌と乾燥効果を高めるため、包装あり、あるいは穴の開いている器具は重ならないようにしてください。

SciCanではエンドユーザに対し、感染管理関連団体や自治体等の規定あるいは推奨に従った最適な滅菌サイクルの選択を推奨しています。

4.5 生物学的・化学的指標の使用

滅菌対象のパッケージごと、あるいは滅菌対象の器具ごとに蒸気滅菌器具に適した化学処理指標が必要です。更に、生物学的指標を毎週利用した器具の滅菌確認を推奨します。

4.6 器具の重量ガイド

器具	器具の一般的重量
鋏	30 g / 0.96 oz
歯科用スケーラー	20 g / 0.64 oz
鉗子	15 g / 0.48 oz
歯科用ハンドピース	40 to 60 g / 1.29 to 1.92 oz
包装あり器具ラック	260 g / 8.35 oz
包装なし器具ラック	225 g / 7.23 oz
吸引カニューレ	10 g / 0.32 oz
プラスチック口内ミラー	8 g / 0.25 oz
印象トレー	15 から 45 g / 0.48 から 1.45 oz
プラスチックX線位置決めリング	20 g / 0.64 oz

注意: 上記重量はあくまで目安です。使用器具の実際の重量については製造元の仕様書を確認してください。

5　ステイティムの使用

ステイティムを初めてご使用になる前に、貯水タンクに水が一杯になっていることと、ポンプの事前準備を確認してください。詳細は***3.4 貯水タンクに水を入れるおよび3.5 ポンプ事前準備***セクションをご参照ください。

5.1 サイクル選択

ステイティム 2000 G4および5000 G4には7種類の滅菌サイクルがあり、特定のパラメータに応じた滅菌処理ができます。これらのサイクルは包装なし、包装あり、あるいはゴム/プラスチックサイクルボタンを押すことで選択できます。

以降数ページにわたって器具の種類、滅菌要件、各サイクルの図を説明します。容量要件については「テスト手順」セクションに記載されています。

5.1.1 包装なしサイクル

ステイティム 2000 G4および5000 G4には2種類の134°CタイプSおよび1種類の134°CタイプN包装なしの滅菌サイクルがあります。サイクルの滅菌フェーズが終了すると、1時間のエアドライが開始します。タイプSサイクルは歯科用ハンドピース等の空洞なし・空洞ありの金属器具の滅菌に使用します。

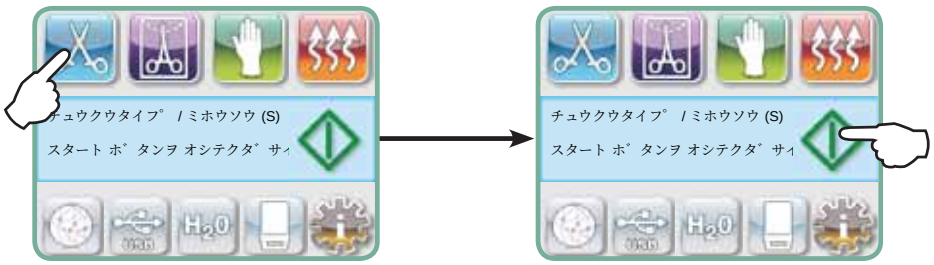
空洞あり包装なし (S) 134°C / 3.5 分

空洞あり包装なし (S) 134°C / 18 分

タイプNサイクルはプライヤー、歯科用バー、スケーラー、鉗子等の空洞なし金属器具の滅菌に使用します。

空洞なし包装なし (N) 134°C / 3.5 分

サイクルの選択：包装なしサイクルボタンを押してサイクルをスクロールします。



適切なサイクルを選択し、**開始**ボタンを押してください。

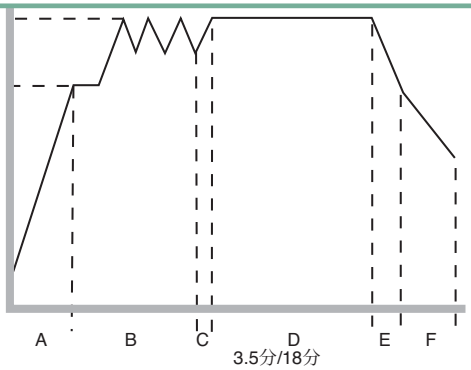
ステイティム G4は最後に選択した包装なしサイクルを記憶し、次回包装なしアイコンを選択した際に表示します。

注意:処理確認モード（サイクルの開始および停止時にユーザがPINを入力する必要がある）を有効にすると、開始ボタンを押した後にPIN画面が表示されます。サイクルを開始するにはPINを入力してください。

5.1.1 包装なしサイクル 続き

空洞あり包装なし (S) 134°C / 3.5 分

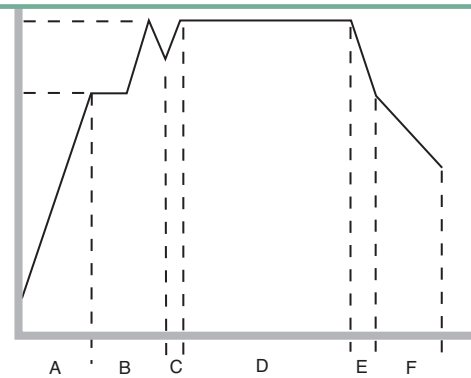
空洞あり包装なし (S) 134°C / 18 分



A　100˚C / 101 kPa
B　蒸気パージ3回(調整)
ピーク時 133˚C / 295 kPa
ベント(蒸気抜き)時 115˚C / 169 kPa
C　加圧
D　滅菌
134˚C / 304 kPa -
138˚C / 341 kPa
E　ベント(蒸気抜き)
F　エアドライ

(タイプS)

空洞なし包装なし (N) 134°C / 3.5 分



A　100˚C / 101 kPa
B　蒸気パージ 1 回(調整)
ピーク時 133˚C / 295 kPa
ベント(蒸気抜き)時 115˚C / 169 kPa
C　加圧
D　滅菌
134˚C / 304 kPa -
138˚C / 341 kPa
E　ベント(蒸気抜き)
F　エアドライ

(タイプN)

5　ステイティムの使用

5.1.2 空洞あり包装ありサイクル

ステイティム 2000 G4および5000 G4には2種類の134°Cタイプ S包装ありの滅菌サイクルがあり、空洞あり、またはなしで、紙/紙あるいは紙/プラスチックのオートクレーブバッグで密閉された金属器具の滅菌処理ができます。

空洞あり包装あり (S) 134°C / 3.5 分

空洞あり包装あり (S) 134°C / 18 分

メインメニューから包装ありアイコンを押してサイクルをスクロールします。

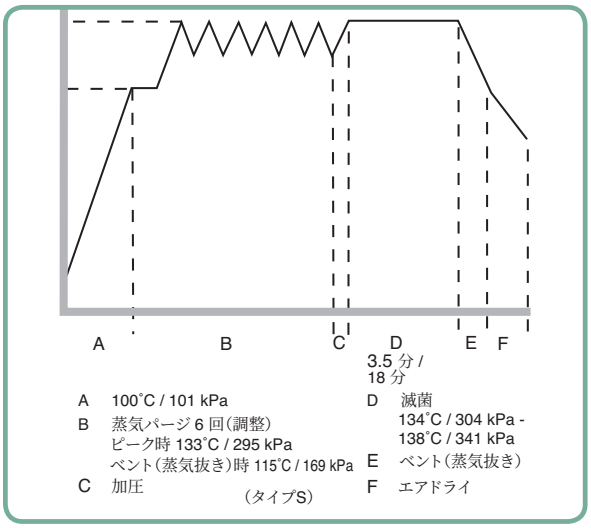
適切なサイクルを選択して**開始**ボタンを押してください。

ステイティム G4は最後に選択した空洞あり包装ありサイクルを記憶し、次回空洞あり包装ありアイコンを選択した際に表示します。

注意: 空洞あり包装あり (S) 134°C/3.5分サイクルについては工程試験用具(PCD)があります。

空洞あり包装あり (S) 134°C / 3.5 分

空洞あり包装あり (S) 134°C / 18 分



5　ステイティムの使用

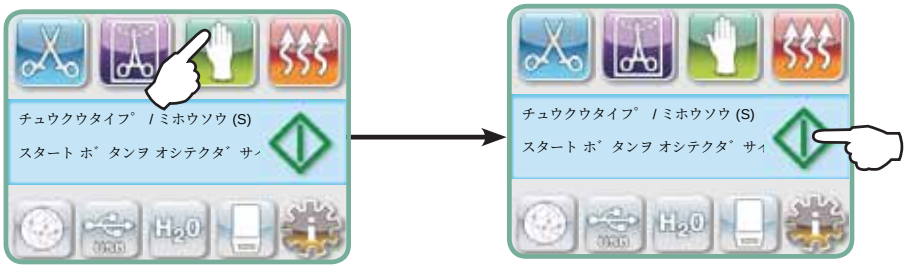
5.1.3 ゴムおよびプラスチックサイクル

ステイティム 2000 G4および5000 G4は2種類の121°CタイプS滅菌サイクルで、空洞のない、包装なしの金属または「器具の準備と設置」セクションに記載されている素材の器具が滅菌処理できます。

ゴム / プラスチック (S) 121°C / 15 分

ゴム / プラスチック (S) 121°C / 30 分

メインメニューからゴム/プラスチックアイコンを押し、サイクルをスクロールします。

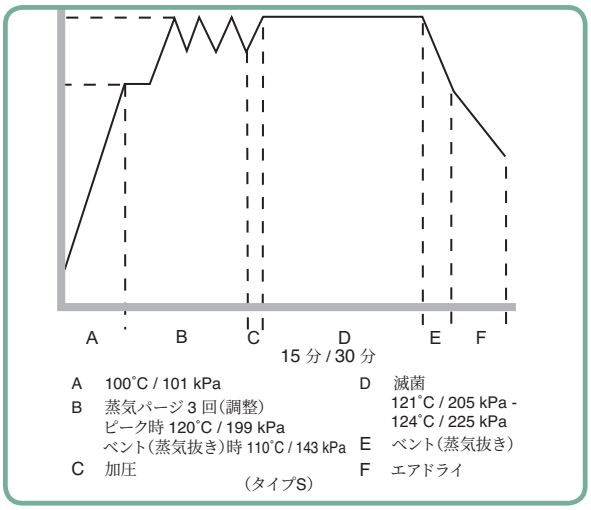


適切なサイクルを選択し、**開始**ボタンを押してください。

ステイティム G4は最後に選択したゴム/プラスチックサイクルを記憶し、次回ゴム/プラスチックアイコンを選択した際に表示します。

ゴム / プラスチック (S) 121°C / 15 分

ゴム / プラスチック (S) 121°C / 30 分



5.1.4 エアドライのみサイクル

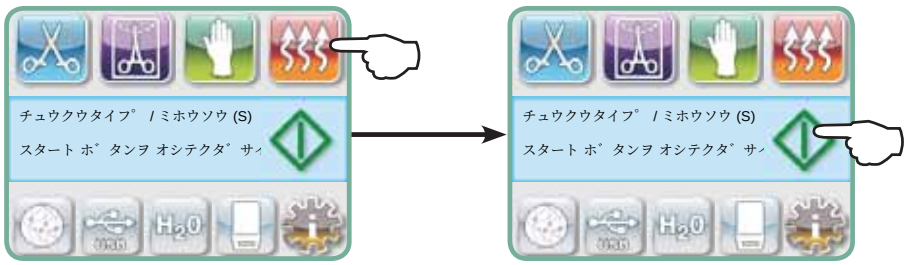
これは滅菌サイクルではありません。

サイクルの滅菌フェーズの完全な終了をもって、器具は滅菌されたとみなされます。滅菌サイクルの終了後、60分のエアドライフェーズが自動的に開始します。

滅菌フェーズの完了後であれば、停止ボタンを押すことでいつでもエアドライフェーズを中断することができます。カセットの中身が完全に乾燥するためには、60分間のサイクルをきちんと完了させてください。腐食を防ぐため、包装なし器具においては乾燥が重要になります。包装あり器具については滅菌性の確保のため包装の乾燥が必要です。

滅菌サイクルのエアドライステージで停止ボタンが押された場合、カセットがオートクレーブから取り外されていなければエアドライのみサイクルを開始することで乾燥を再開することができます。オートクレーブからカセットが取り外された場合、再度挿入してエアドライのみサイクルを開始しないでください。カセットに包装済み器具があり、カセットを開けた時点で包装が乾燥していない場合、器具は滅菌状態が保たれるよう取り扱い、直後に使用するかあるいは再度滅菌処理する必要があります。

注意: 滅菌した器具は乾燥してからのみ取り扱ってください。重量によって乾燥時間は異なります。60分という時間はサイクルごとの最高重量から算出しています。ベストプラクティスが実行され(「器具の準備と設置」セクションと「メンテナンス」セクションを参照)最高容量以下の重量の場合、60分未満で乾燥することがあります。



開始する場合はエアドライのみサイクルボタンを押し、**開始**ボタンを押してください。

単独での動作ではこのサイクルは60分で完了します。

5.2 サイクル稼動

各サイクルは以下の手順で実行してください。

1. ユニット裏側の電源スイッチをオンにしてください。

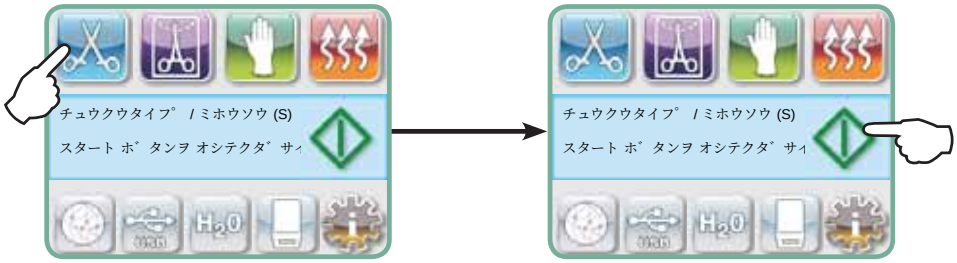
電源が点くとユニットがメインメニューを表示します。

2. タッチスクリーンで適切なサイクルボタンを押して、サイクルをスクロールします。

サイクル名とパラメータが表示されます。ステイティム G4では7種類のサイクルがあります。

空洞あり包装なし (S) 134°C / 3.5 分	または 空洞あり包装あり (S) 134°C / 3.5 分	または ゴム / プラスチック (S) 121°C / 15 分
空洞あり包装なし (S) 134°C / 18 分	空洞あり包装あり (S) 134°C / 18 分	ゴム / プラスチック (S) 121°C / 30 分
空洞なし包装なし (N) 134°C / 3.5 分		

3. サイクルを選択して開始アイコンを押してください。



注意: 処理確認モードを有効にすると、開始ボタンを押した後にPIN画面が表示されます。サイクルを開始するにはPINを入力してください。

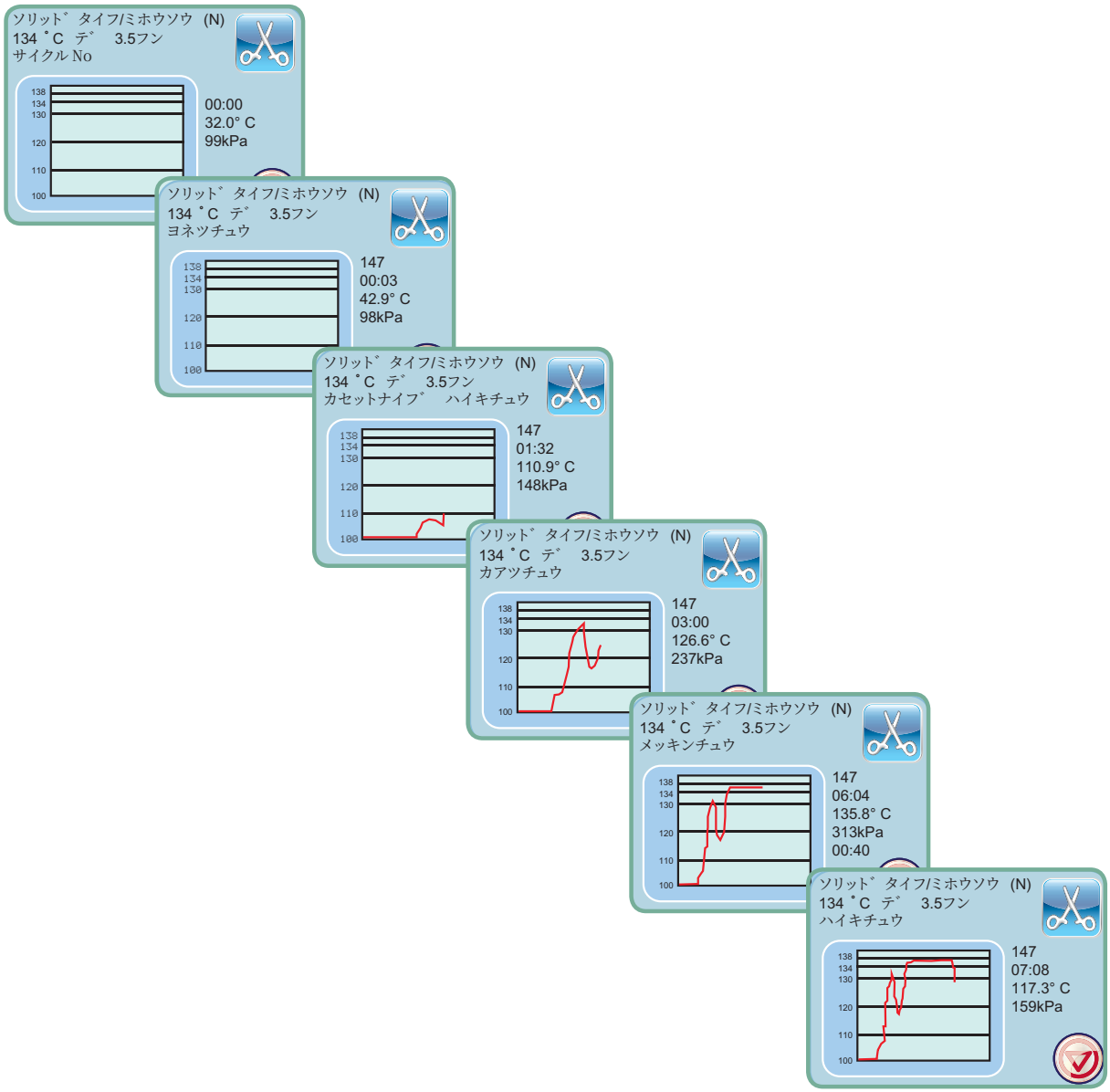
5.2 サイクル稼動

サイクルが開始すると、サイクルのパラメータが画面トップに表示されます。

以下が現在のフェーズです。ユニットのサイクルカウンタが右側に表示されます。

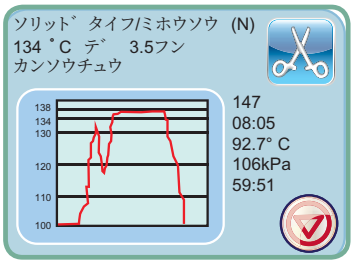
現在のサイクル情報が右側に表示されている間、サイクル進捗状況がグラフで表示されます。

サイクル進行中、様々な音が鳴ります。これはユニットの正常な動作です。

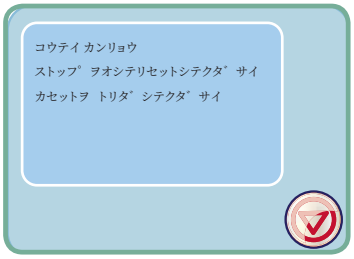


5.2 サイクル稼動 続き

エアドライステージの最中コンプレッサの動作音が鳴ります。エアドライフェーズは**停止**ボタンを押すことでいつでも中断できます。



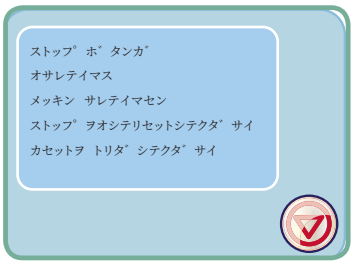
自動60分エアドライサイクルが完了し、滅菌サイクルが成功すると、サイクル完了メッセージがタッチスクリーンに表示され、**停止**ボタンを押すか、ユニットからカセットを取り外すまで確認音が鳴ります。



十分に注意してください。金属パーツは高温になり、カセットには水蒸気が含まれる場合があります。

5.3 サイクル停止

サイクルを停止するにはタッチスクリーンの右下にある**停止**アイコンを押してください。**停止**ボタンを押すか、カセットを外すか、あるいは動作中にユニットが問題を検知するとサイクルが停止します。サイクルが停止した場合は、次のサイクルを開始する前に**停止**ボタンを押す必要があります。ディスプレイ表示:



サイクル失敗コードあるいは滅菌できませんメッセージが表示された場合、カセットの中身は滅菌できていません!セクション 9 トラブルシューティングを参照してください。

サイクルのエアドライステージを中断した場合、カセット内の包装あり器具は乾燥していない状態で保管しないでください。

注意:処理確認モードを有効にすると、**停止**ボタンを押した後にPIN画面が表示されます。手動でロード(処理する器具)を外す場合は、PIN画面でENを押してください。次の画面で「手動でロードを外す」を選択してください。

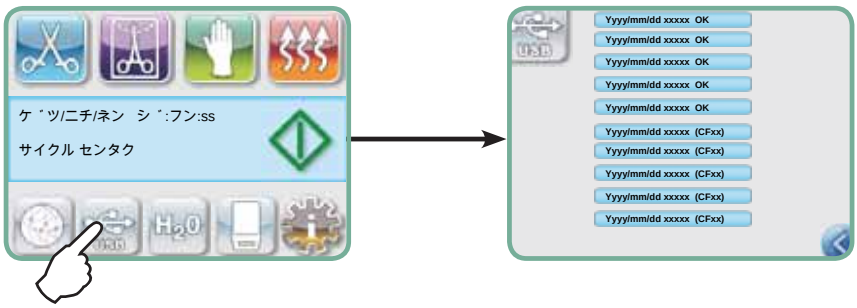
6　サイクル情報保存と再取得

ステイティム G4は内部データロガーに完了・中断を問わず全サイクル情報を記録しています。タッチスクリーン、ウェブポータル、USBストレージ機器、あるいはプリンタを接続することでこの情報にアクセスできます。

6.1 タッチスクリーンによるサイクル情報再取得

1. メインメニューでUSBアイコンを押してください。
2. ユニットは最新5件の完了したサイクルと最新5件の中断したサイクルを記録します。リストからサイクルを選択すると、サイクル情報を印刷フォーマットに近い形で表示します。
3. 矢印キーを操作してスクロールしてください。

注意：USBストレージ機器がユニットに接続されているか否かに関わらず、最新5件の完了したサイクルと最近5件の中断したサイクルをいつでも閲覧できます。ステイティム G4ウェブポータルにアクセスするとPCからの全サイクル情報を閲覧できます。ステイティムのネットワーク接続については別途ステイティム 2000/5000 G4 – ウェブポータルセットアップおよびご利用マニュアルをご確認ください。



6.2 USBデータバックアップによるサイクル情報取得

USBストレージ機器を利用するとユニットに記録されている情報をPCに移行させることができます。ベストプラクティスとしては、週1回この手順を行ってください。USBポートからのデータ移行については次の手順で行ってください。

1. USBストレージ機器をUSBポートに接続してください。
2. ステイティムはデータが既にUSBストレージに移行されているか否かの情報を記録しており、自動的に新しいデータのみを移行させます。

! ステイティム内部メモリに記録されたデータは1回のみコピーできます。過去に移動したデータは新しいUSBストレージ機器に再度保存することはできません。過去に移動したデータにはウェブポータルからアクセスできます。

3. USBストレージ機器の使用中ライトの点滅が止まるか、LCDのUSBアイコンが点滅する緑から点滅しないグレーに変わったら、USBストレージ機器を外してPCに情報をコピーしてください。

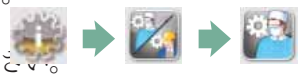
注意: メインメニューからUSBストレージ機器アイコンを選択した場合は、過去5件の完了サイクルおよび過去5件の未完了サイクルのみ閲覧できます。USBストレージ機器に保存されている全データを閲覧するにはPCが必要です。

7　プリントサイクル情報

ステイティム G4には外部プリンタに接続するためにRS232シリアルポートがあります。(推奨プリンタの一覧は下の表をご確認ください)

プリンタ接続

以下の手順でプリンタを接続してください:

1. ステイティム G4のRS232ポートにプリンタのシリアルケーブルを差し込んで外部プリンタを接続してください。
2. プリンタの電源を点けてください。
3. ステイティム G4で、選択してください。 
4. [プリンタ種別] までスクロールして次を選択してください。
5. をシリアルプリンタオプションまでトグルして選択してください。 をクリックして保存し、セットアップメニューに戻ってください。

プリント設定

ステイティム G4では各種プリンタ設定が可能です。これらの設定はセットアップメニューからアクセスできます(上記手順を守ってください)。以下の表あるいはプリンタの取扱説明書を確認して、[通信速度]、[行終わりCR/LF] および [プリンタユーザ文字.] でプリンタ設定を調整してください。

外部プリンタと仕様

SciCan推奨 外部プリンタ	行終わりCR/LF	シリアルポートビット レート	プリンタユーザ ° 文字
エプソン TM-U220D (C31C515603)	CR/LF	9600	248 [0xF8]
シチズン IDP-3110-40 RF 120B	CR	9600	当てはまらない
Star Micro SP212FD42-120	CR	9600	210 [0xd2]
Star Micro SP216FD41-120	CR/LF	9600	210 [0xd2]
Star Micro SP512MD42-R	CR/LF	9600	210 [0xd2]

8　ステイティムのメンテナンス

8.1 カセットクリーニング

ステイティムカセットをきれいに洗浄しておくことは臨床上のグッドプラクティスであり、ユニットの動作性を高めます。SciCanでは最低週1回の内側の表面洗浄を推奨しています。潤滑剤を使用した器具を定期的に滅菌している場合、カセット内部の洗浄は非常に重要です。

1. 塩素の含まれていない食器用洗剤か刺激の低い洗剤を使用してください。
2. テフロン™コーティング処理用の洗浄パッドで内側をこすり洗いしてください。
3. こすり洗いした後水で洗剤を完全に洗い流してください。

内側の表面に/STAT-DRI PLUS乾燥剤を完全に塗布することで、水が水滴を作らず内側の表面をきれいに覆います。高温のカセット表面についた水分も、より効率的に蒸発します。水分残留が最小限に抑えられ、器具が遥かに迅速に乾燥します。10サイクルごとに、またカセットクリーニング実施ごとに STAT-DRI PLUSを塗布してください。

STAT-DRI はSciCanより、2オンスボトル (SciCanパーツ番号# 2OZPLUS)、8オンスボトル (SciCanパーツ番号#8OZPLUS)、32オンスボトル (SciCanパーツ番号#32OZPLUS)のサイズでお求めいただけます。

8.2 貯水タンクフィルタのクリーニング

貯水タンクは最低週1回、および必要に応じて洗浄してください。フィルタは簡単に取り外しできます。流水できれいになるまで流し、貯水タンクの開口部に再度設置してください。貯水タンクフィルタの交換が必要な場合はパーツ番号01-109300Sを注文してください。

8.3 貯水タンク洗浄

貯水タンクに汚れや付着物がないか確認してください。貯水タンクの洗浄は、排水後蒸気処理した蒸留水のみを使って洗浄してください。化学薬品や洗浄剤の使用は推奨しておらず、ユニットの故障に繋がることがあります。

8.4 外部表面の洗浄

石鹸水で湿らせた柔らかい布で外部の表面を拭いてください。強い薬品や殺菌剤は使用しないでください。

8.5 ステイティム 2000 G4 エアフィルタ交換

エアドライサイクルでの正常な空気供給のため、フィルタは6ヶ月ごと、あるいは 500サイクルごとに交換してください。

フィルタ変更手順:

1. ユニット裏側の電源スイッチをオフにしてください。
2. 古いフォームエアフィルタ 3 を外して廃棄してください。
3. 新しいフィルタ(SciCanパーツ番号01-100207S) 3 を入れてください。
4. 取り外しの際に保管しておいたスクリュー 1 で、フィルタプレート 2 をコンプレッサの後に取り付けてください。

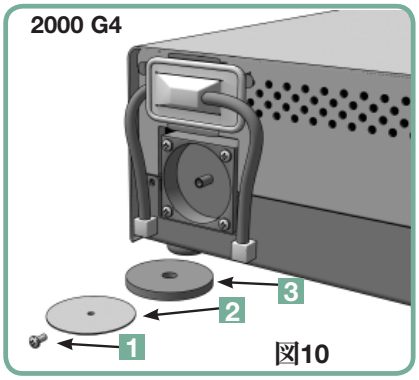


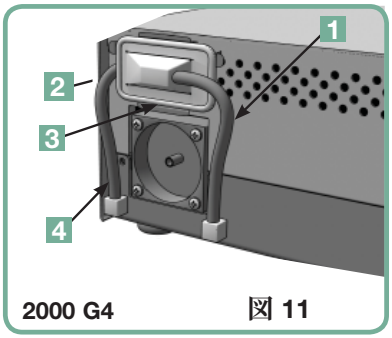
図10

8.6 エアフィルタおよびバクテリアトラップフィルタ交換

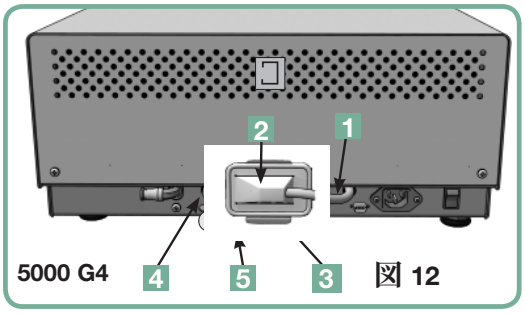
エアドライサイクルでの正常な空気供給のため、フィルタは6ヶ月ごと、あるいは500サイクルごとに交換してください。

ステイティム 2000 G4 および 5000 G4のバクテリアトラップエアフィルタ交換手順:

1. ステイティム の電源を**オフ**にしてください。
2. チューブA 1 をバクテリアトラップフィルタ 2 から外し、フィルタをフィルタブラケット 3 から外してください。フィルタをブラケットから外す際にフィルタの→マークの位置を覚えておいてください。
3. フィルタをブラケットから外したら、チューブB 4 をそっとフィルタから外してください。
4. 交換バクテリアトラップフィルタ 2 (SciCan注文番号01-102119S)を設置する前にフィルタの矢印位置とブラケットの矢印位置を合わせてください。左側のフィルタフィッティングをチューブB 4 に接続してください。
5. 交換フィルタをフィルタブラケットに軽く押し込んでください 3。フィルタの矢印を外側の左向きにしてください。
6. チューブA 1 を右側のフィルタフィッティングに接続してください。



2000 G4 図 11



5000 G4 図 12

5000 G4のエアフィルタ交換手順:

1. 円筒型エアフィルタ 5 を反時計回りに回して外してください。
2. 古いフィルタを廃棄してください。
3. 新しいフィルタを取り付けてください。器具を使用せず、手指の力で回る範囲ではめてください。

8.7 カセットのパッキン交換

ステイティム カセットオートクレーブの最高の動作性を保持するために500サイクルごとに、あるいは6ヶ月ごとのいずれか早い方でカセットのパッキンを交換してください。交換パッキンはSciCan (ステイティム 2000 G4用は注文番号01-100028S、ステイティム 5000 G4用は01-101649S)から注文してください。

カセットのパッキン交換手順:

きれいな場所にカセットの蓋と新しいパッキンを置いてください。古いパッキンがカセットの蓋に入っている位置を確認し、新しいパッキンの位置合わせを行ってください。

古いパッキンを外して廃棄してください。パッキンのチャネルに残っているあらゆる残留物を蒸留水で洗浄してください。

新しいパッキンに付属のパッキン用液体潤滑剤を塗布してください。

パッキンの円い方を蓋の円いリップにはめ込んでください。新しいパッキンの穴を蓋の穴の位置に合わせてください。

注意: 蓋の角の箇所と穴の箇所に四角い2つのニブが見えているのを確認してください。このニブは蓋の外側表面のものと位置を合わせてください。

パッキンが完全に入っていることを確認してください。縁を触って、きちんと入っていることを確認してください。

注意: サイクル中、蓋とトレーの間から蒸気が出てくることがあります。続く場合はカセットを外し、パッキンがしっかりはまっていることを確認してください。

図 13

十分に注意してください。金属パーツは高温になり、カセットには水蒸気が含まれる場合があります。

8　ステイティムのメンテナンス

8.8 水位保持

1. 貯水タンクの水位はステイティムによって常時モニターされています。水位が低くなるとサイクル選択画面の水アイコンに赤いXが表示されます。アイコンをクリックして次のスクリーン に移動し、水質の問題ではなく水位の問題であることを確認してください。
2. 貯水タンクの水位が低い場合は水位に が表示されます。
3. ユニット上部のキャップを外し、貯水タンクに水を追加してください。水がこぼれないようロウトを使用してください。貯水タンクに水を追加する度に、排水ボトルを空にして水を最低水位ラインまで入れてください。悪臭や内容物の退色を防ぐため、排水ボトルは頻繁に空にしてください。（少量の塩素を含まない殺菌剤など、製造元の指示に従った溶液を排水ボトルの水に足すことで改善できます）

8.9 水質確認

1. 貯水タンクの水位はステイティムによって常時モニターされています。ステイティムには、蒸気処理した、溶解固形物が 5ppm以下の蒸留水（伝導率 10 µS / cm未満）のみを使用してください。水質が上記水準を下回るとサイクル選択画面の水アイコンに赤いXが表示されます。アイコンを押して次のスクリーン に移動し、水位の問題ではなく水質の問題であることを確認してください。
2. 貯水タンクの水質が低い場合は小さいSの隣に が表示されます。
3. 排水チューブ(3.5ポンプ事前準備セクション図 6参照)を使って貯水タンクを空にし、蒸気処理した、溶解固形物が 5ppm以下の蒸留水（伝導率 10 µS / cm未満）で満たしてください。

8.10 予防保全スケジュール

トラブルを避けるため、利用者ならびに代理店は予防保全スケジュールを遵守してください。

注意:国、地域、自治体等の安全法に定められている場合は必要に応じて追加メンテナンススケジュールを組んでください。

以下のスケジュールにおいて必要な手順を説明されています。

オペレータ		
毎日	貯水タンク	• 作業日ごとに排水してください。
	排水ボトル	• 貯水タンクに水を追加する度に排水ボトルを空にしてください。最低水量ラインまで水道水で満たしてください。 • 塩素の入っていない滅菌剤を追加することもできます。
週1回	カセット	• カセット内部を塩素の入っていない食器用洗剤か石鹸で洗浄してください。洗浄剤を全て洗い流し、カセットの内側の表面にSTAT-DRI™ Plus 乾燥剤を使用して乾燥プロセスを促進してください。 代理店にSTAT-DRI™ Plusの 2OZPLUS、8OZPLUST、32OZPLUS等を指定して注文してください。
	水フィルタ	• 貯水タンクを毎週確認し、必要に応じて掃除してください。必要がある場合のみ交換してください。
	生物および/またはエアフィルタ	• フィルタに汚れや水分の付着がないか確認してください。汚れている場合は交換してください。濡れている場合は修理を依頼してください。
毎 6ヶ月	エアフィルタ	• 500サイクルごとか6ヶ月ごと（いずれか早い方）に交換してください。
	生物エアフィルタ	• 500サイクルごとか6ヶ月ごと（いずれか早い方）に交換してください。
	カセットパッキン	• 500サイクルごとか6ヶ月ごと（いずれか早い方）に交換してください。

技術者		
年1回	カセット	• トレー、蓋、パッキンに損傷がないか確認してください。必要に応じて交換してください。
	生物フィルタ	• 生物フィルタに水分が付着していないか確認してください。
	ソレノイドバルブ	• バルブを確認して汚れがあった場合は掃除してください。不良品の場合は交換してください。
	ポンプ	• フィルタを掃除し、それでも汚れている場合は交換してください。
	バルブを確認してください。	• エアドライの最中に排気チューブをユニットの裏から外してください。差込口からのエアを確認してください。 • 動作中にエアコンプレッサチューブをバルブインレットから外してください。バルブから水蒸気が漏れていないことを確認してください。漏れがあった場合は交換してください。
	貯水タンクください。	• 貯水タンクに汚れがないか確認してください。必要に応じて蒸気処理した蒸留水で洗浄してく
	較正	• ユニットを較正してください。

8.11 ユニットの発送 / 貯水タンクの排水

ユニットを動かす時は事前に貯水タンクを排水してください。排水手順:

1. 容器をユニットの下に配置してください。
2. 排水チューブ(3.5ポンプ事前準備セクション図 6参照)を使って貯水タンクの中身を排水してください。
3. 貯水タンクに残っている水は糸くずの出ない吸水性の良いタオルで吸い取ってください。
4. ユニット下部の水平フィートをスクリューで取り付けてください。
5. ユニットおよび付属品を全て元の梱包に戻してください。
6. 加温・保証付で配送してください。

9　ステイティムのトラブルシューティング

問題	解決策
ユニットの電源が**オン**になりません。	ユニットがアース付の電源に差し込まれていて、電源が機械の裏にきちんと接続されていることを確認してください。 別の回路を試してみてください。ユニットの電源を**オフ**にして 10秒待ち、再度**オン**にしてください。 電気回路やブレーカー、ヒューズを確認してください。
機械の下に水があります。 	貯水タンクに水を入れた時に水をこぼさなかったか調べてください。排気チューブのプラグがきちんとはめ込まれているのを確認してください。カセットを外して、再度挿入してください。 もう一度サイクルを開始してください。 十分に注意してください。金属パーツは高温になり、カセットには水蒸気が含まれます。 カセットが水漏れしています。動作時にユニットの下側から水漏れしている場合、カセットのパッキンにずれや損傷がないか確認して、必要に応じて交換してください。 十分に注意してください。金属パーツは高温になり、カセットには水蒸気が含まれます。 もう一度サイクルを開始してください。水漏れが解消されない場合は可能であれば別のカセットを使ってもう一度サイクルを開始してください。 漏れが解消されない場合はユニットをの電源をオフにしてカセットを外し、中身を出してユニットの電源を抜いてSciCan代理店にご連絡ください。
器具が乾燥しません。	サイクルが完了まできちんと終了した場合にもっともよく乾きます。サイクルをきちんと完了させてください。器具がカセットにきちんと設置されていることを確認してください。セクション 4 カセットと準備器具の使用を参照してください。 ユニットの水平度を確認してください。 エア/生物フィルタを確認して、汚れている場合は交換してください。カセット内側を洗浄し、STAT-DRI Plus乾燥剤で処理してください。8.1カセットの洗浄セクションをご確認ください。 排気チューブ（排水ボトルに接続されているボトル）によじれなどがないか確認してください。

問題	解決策
器具が乾燥しません。続き	チューブがよじれている場合はまっすぐに直してください。チューブをまっすぐに出来ない場合はステイティムのはめ込み口から外してください。差込口の周囲を押さえて、チューブをしっかり引き抜いてください。チューブを差込口から外したら、損傷のある部分を鋭利な刃物で切り落としてください。チューブを排気口に再度差し込む際、ユニットに届くだけの長さが確保されていることを確認してください。チューブの損傷部分を切り落とすと長さが足りなくなる場合はSciCan代理店に交換品をご注文ください。 コンプレッサが動作していることを確認してください。排水ボトルに繋いである排気チューブを外して調べてください。エアドライのみサイクルを開始して、繋いでいない方を水の入ったコップに入れてください。定期的に大きい空気の泡が出てこない場合はコンプレッサが正常に動作していません。SciCan代理店にご連絡ください。
サイクル停止-滅菌できていません、 サイクル中断-滅菌できていません、 およびサイクル不良メッセージ	数分待ち、新規サイクル開始を試みた後次の解決策を試してください。カセットを外してください。十分に注意してください。金属パーツは高温になり、カセットには水蒸気が含まれます。カセットのパッキン裏の穴の位置が揃っていることを確認してください。排気チューブがよじれていたり塞がっていないか調べてください。チューブがよじれている場合はまっすぐに直してください。チューブをまっすぐに出来ない場合はステイティムのはめ込み口から外してください。差込口の周囲を押さえて、チューブをしっかり引き抜いてください。チューブを差込口から外したら、損傷のある部分を鋭利な刃物で切り落としてください。チューブを排気口に再度差し込む際、ユニットに届くだけの長さが確保されていることを確認してください。チューブの損傷部分を切り落とすと長さが足りなくなる場合はSciCan代理店に交換品をご注文ください。 ステイティムの供給電源に停電などのトラブルがなかったかご確認ください。セクション3.1ユニットの配置をご参照ください。 もう一度サイクルを開始してください。問題が解決しない場合はサイクルエラーメッセージ番号を控えて代理店にご連絡ください。

問題	解決策
機械前面から過度の水蒸気が出ています。 	カセットを外して、再度挿入してください。もう一度サイクルを開始してください。カセットのパッキンにずれや損傷がないか確認してください。必要に応じてパッキンを交換してください。金属パーツは高温になり、カセットには水蒸気が含まれます。ご注意ください。 漏れが解消されない場合はユニットをの電源を**オフ**にしてカセットを外し、中身を出してSciCan代理店にご連絡ください。
機械が動作せず、タッチスクリーンに以下の表示が出ます： 	アイコンを押して水位の問題か水質の問題か確認してください。 水質の問題の場合は蒸気処理した蒸留水を使用したか、適切に蒸留されていない蒸留水を使用した可能性があります。 貯水タンクを空にして、蒸気処理を行った、溶解固形物が5ppm以下の蒸留水（伝導率 10 µS / cm未満）で満たしてください。伝導率計がある場合は貯水タンクに入れる前に蒸留水の水質を確認してください。タンクを空にする手順については8.11 ユニット発送 / タンクを空にするをご参照ください。
機械が動作せず、タッチスクリーンに以下の表示が出ます： 	アイコンを押して水位の問題か水質の問題か確認してください。 貯水タンクの水位が低い場合は蒸留水を追加してください。3.4貯水タンクに水を入れるセクションを確認してください。
プリンタが動作しません。	ステイティム裏のコネクタにプリンタケーブルがしっかり繋がっていることを確認してください。プリンタの電源がオンになっていることを確認してください。ユニットの電源をオフにして10秒待ち、再度オンにしてください。
日付と時間が間違っています。	日付と時間が設定されていません。日時設定手順はセクション3 ステイティムセットアップを参照してください。

問題	解決策
タッチスクリーンに何も表示されません。または真っ白です。	ファームウェアがアップグレードの最中に中断されました。ユニットの電源を切り、再度電源を入れてください。メインメニュー表示までに最長6分程度かかることがあります。
タッチスクリーンに何も表示されません。または真っ暗です。	電源を確認してください。
USBストレージデバイスに最終のプリントアウトが含まれていません。	USBストレージデバイスを挿入し直して、データが再度コピーされるのを待ってください。 問題が解決しない場合は、USBデバイスに保存されている全データのバックアップを取った後、USBデバイスを再フォーマットしてください。 **注意:** ユニットのサイクル情報はユニットのウェブポータルからアクセス可能です。
タッチスクリーンの表示が次のようになっています: 	接続アイコンの上にXが表示されている場合、ユニットがネットワークに接続されていません。ユニットがネットワークに接続されているはずなのにXが表示されている場合、ユニットはIPアドレスを取得できていません。以下の手順を試してみてください。 • ルータの動作確認 • LANケーブルの確認(新しいケーブルに交換) • ルータがIPアドレスを自動的に割り当てるようになっているか確認 • 以下の手順でIPアドレスを更新してください: 1. セットアップメニューのネットワークセットアップまでスクロールし、選択してください。 2. IP更新を選択してください
ユニットがEメールを送信しません。	ユニットのウェブポータルでテストボタンをクリックしてEメール設定を確認してください。セットアップウェブページからツールタブを選択してください。テストをクリックしてルータ、ユニット、インターネット接続を確認してください。全部の設定が正しい場合、ユニットのタッチスクリーンに戻り、以下の手順でIPアドレスを更新してください。 1. セットアップメニューのネットワークセットアップまでスクロールし、選択してください。 2. IP更新を選択してください
ユニットからのEメールが受信できません。	スパムフィルタの設定を確認してください。ユニットが安全な送信元として、ユニットからのEメールを受信できる設定になっているか確認してください。 ウェブポータルのお問い合わせ先ページで、SciCanプライバシーポリシーの同意ボックスにチェックをしてください。

ステイティム 2000/5000 G4	サイクル						
タイプ試験	空洞なし包装なし (N) 134˚C / 3.5 分	空洞あり包装なし (S) 134˚C / 3.5 分	空洞あり包装なし (S) 134˚C / 18 分	空洞あり包装あり (S) 134˚C / 3.5 分	空洞あり包装あり (S) 134˚C / 18 分	ゴム/プラスチック (S) 121˚C / 15 分	ゴム/プラスチック (S) 121˚C / 30 分
ダイナミックチェンバー		X	X	X	X	X	X
空チェンバー	X	X	X	X	X	X	X
空洞なしロード — 包装なし	X	X	X	X	X	X	X
空洞なしロード — 一重包装		X	X	X	X	X	X
空洞ありロード B		X	X	X	X	X	X
ドライネス、空洞なしロード — 包装なし	X	X	X	X	X	X	X
ドライネス、空洞なしロード — 一重包装		X	X	X	X		
残りエア	X	X	X	X	X	X	X
追加試験							
ステイティム 2000/5000 G4 PCD＊ (01-108341)				X			
微生物試験							
特定医療器具 - 下チャート参照							

最高ロード							
2000 G4	1 Kg.	1 Kg.	1 Kg.	1 Kg.	1 Kg.	0.4 Kg.	0.4 Kg.
5000 G4	1.5 Kg.	1.5 Kg.	1.5 Kg.	1.5 Kg.	1.5 Kg.	0.4 Kg.	0.4 Kg.

メーカー-モデル	サイクル
歯科用器具	
KaVo GENTLEforce 7000C	空洞あり/包装なし (S) 134˚C / 3.5 分
Kavo – Gentle Power Lux 25 LPA	空洞あり/包装なし (S) 134˚C / 3.5 分
W&H-Trend LS, WD-56	空洞あり/包装なし (S) 134˚C / 3.5 分
W&H-Trend HS, TC-95RM	空洞あり/包装なし (S) 134˚C / 3.5 分
KaVo Super-Torque LUX/640 B	空洞あり/包装なし (S) 134˚C / 3.5 分
KaVo-INTRAmatic LUX3, 20 LH	空洞あり/包装なし (S) 134˚C / 3.5 分
NSK-PANA Air	空洞あり/包装なし (S) 134˚C / 3.5 分
NSK-ATL118040	空洞あり/包装なし (S) 134˚C / 3.5 分
NSK – Ti-Max	空洞あり/包装なし (S) 134˚C / 3.5 分
STAR-430 SWL	空洞あり/包装なし (S) 134˚C / 3.5 分
Sirona-T1 Classic, S 40 L	空洞あり/包装なし (S) 134˚C / 3.5 分
Sirona-T1 Control, TC3	空洞あり/包装なし (S) 134˚C / 3.5 分
Midwest-Tradition	空洞あり/包装なし (S) 134˚C / 3.5 分
Bein – Air - Bora L	空洞あり/包装なし (S) 134˚C / 3.5 分
W&H – WS-75	空洞あり/包装あり (S) 134˚C / 3.5 分
W&H – WA-99 LT	空洞あり/包装あり (S) 134˚C / 3.5 分
W&H – TA-98 LC	空洞あり/包装あり (S) 134˚C / 3.5 分
B & L 眼科用器具	
Gimble 灌流カニューレ 30g　E4894	空洞あり/包装なし (S) 134˚C / 3.5 分
レーシックカニューレ　E4989	空洞あり/包装なし (S) 134˚C / 3.5 分
Gillis 灌流-吸引カニューレ E4932	空洞あり/包装なし (S) 134˚C / 3.5 分
Nichamin ハイドロダイセクションカニューレ 26g E4421 H	空洞あり/包装なし (S) 134˚C / 3.5 分
灌流-吸引ハンドピース　MVS 1063C	空洞あり/包装なし (S) 134˚C / 3.5 分
Rudolf Medizintechnik GmbH エンドスコープ周辺機器	
Trocar スリーブ、関節鏡検査、回転ストップコック x2、	空洞あり/包装なし (S) 134˚C / 3.5 分
直径 1.7 mm x 104 mm 長 #10-0008-00	空洞あり/包装なし (S) 134˚C / 3.5 分
Trocar スリーブ、子宮鏡検査診断シース 固定ストップ	空洞あり/包装なし (S) 134˚C / 3.5 分
コック 1 点、直径 2.7 mm x 302 mm 長 #10-0049-00	空洞あり/包装なし (S) 134˚C / 3.5 分
Alcon 眼科用ハンドピース	
NeoSonix Phaco ハンドピース	空洞あり/包装なし (S) 134˚C / 3.5 分
Miltex 医療器具	
Frazier 針　26-778	空洞あり/包装なし (S) 134˚C / 3.5 分
Yeoman 生検鉗子　回転シャフト付 28-304	空洞あり/包装なし (S) 134˚C / 3.5 分
Kerrison 骨鉗子　18-1994	空洞あり/包装なし (S) 134˚C / 3.5 分
Frazier-Ferguson チューブ　19-570	空洞あり/包装なし (S) 134˚C / 3.5 分
Yankauer 吸引チューブ　2-104SS	空洞あり/包装なし (S) 134˚C / 3.5 分
Menghini 生検針　13-150	空洞あり/包装なし (S) 134˚C / 3.5 分
Becton Dickinson	
針、30G1	空洞あり/包装なし (S) 134˚C / 3.5 分
Medical Workshop	
Hockeystick 鉗子　膜剥離 mw-1925	空洞あり/包装なし (S) 134˚C / 3.5 分

* 1. PCD（工程試験用具）はEN13060準拠のステイティム専用に設計されています。

2. EN13060に準拠していないステイティム、ならびに延長カセットではPCDはご利用できません。
3. PCD仕様についてはお問い合わせください。
4. 空洞ありロードAテスト適用-根拠についてはお問い合わせください。

10　テスト手順 続き

サイクル	ステイティム2000 G4	ステイティム5000 G4
	コールドスタート 最大負荷 ＋ 通気乾燥工程	コールドスタート 最大負荷＋通気乾燥工程
	ウォームスタート 無負荷 ＋ 通気乾燥工程	ウォームスタート 無負荷 ＋ 通気乾燥工程
固体 / 未包装（N） 134℃ / 3.5分間	9：15 ＋ 60：00	13：15 ＋ 60：00
	6：45 ＋ 60：00	8：45 ＋ 60：00
中空未包装（S） 134℃ / 3.5分間	11：45 ＋ 60：00	17：30 ＋ 60：00
	8：05 ＋ 60：00	10：50 ＋ 60：00
中空 / 未包装（S） 134℃ / 18分間	26：15 ＋ 60：00	32：00 ＋ 60：00
	22：35 ＋ 60：00	25：20 ＋ 60：00
中空 / 包装（S） 134℃ / 3.5分間	15：35 ＋ 60：00	24：00 ＋ 60：00
	10：40 ＋ 60：00	15：30 ＋ 60：00
中空 / 包装（S） 134℃ / 18分間	30：05 ＋ 60：00	38：30 ＋ 60：00
	25：10 ＋ 60：00	30：00 ＋ 60：00
ゴム / プラスチック（S） 121 ℃ / 15分間	20：15 ＋ 60：00	22：50 ＋ 60：00
	18：40 ＋ 60：00	20：20 ＋ 60：00
ゴム / プラスチック（S） 121 ℃ / 30分間	35：15 ＋ 60：00	37：50 ＋ 60：00
	33：40 ＋ 60：00	35：20 ＋ 60：00

11　交換部品の注文

ステイティム G4 交換部品	
01-100028S	カセットパッキン (2000)
01-101649S	カセットパッキン (5000)
01-103865S	パッキン潤滑剤
01-1016528	エアフィルタ (5000)
01-100207S	コンプレッサフィルタ (2000)
01-102119S	生物フィルタ
01-101783S	貯水カップおよびフィルタ
01-109300S	貯水フィルタキット
01-100204S	排気チューブ
01-100724S	コンデンサなしコンデンサボトル
01-100735S	排水ボトルフィッティング
01-100780S	バンパー
01-100812S	コンデンサボトル
01-104093S	3m長排水チューブ
01-104343S	プラグ - 排水チューブ
01-108340S	ステイティム PCD – 交換部品
01-100782S	はめ込みフィッティング (2000)
01-101755S	はめ込みフィッティング (5000)
01-103945S	ラックトレー包装なし器具キット (ステイティム 2000)
01-112409S	カセット蓋 (2000 G4)
01-112410S	カセットハンドル-蓋 (2000 G4)
01-112386S	カセット蓋 (5000 G4)
01-112387S	カセットハンドルトレー / 蓋 (5000 G4)
01-112388S	カセットハンドル-蓋 (5000 G4)
01-112511S	カセット蓋 (5000 Ext G4)
01-112512S	カセットハンドルトレー / 蓋 (5000 Ext G4)
01-112513S	カセットハンドル-蓋 (5000 Ext G4)
01-103557S	交換電源コード デンマーク (det.)
01-101766S	電源コード・イギリス
01-101768S	電源コード・スイス
01-101769S	電源コード・イタリア
01-101779S	電源コード・ヨーロッパ

ステイティム G4 アクセサリ	
01-101709S	メッシュラック (5000)
01-106653	メッシュラック - ステイティム 2000
01-112408S	カセットトレー (2000 G4)
01-112407S	メッシュラック付カセットトレー (2000 G4)
01-112406S	完全カセット (2000 G4)
01-112510S	カセットトレー (5000 Ext G4)
01-112509S	完全カセット (5000 Ext G4)
01-112385S	カセットトレー (5000 G4)
01-112384S	完全カセット (5000)
01-106325	完全コンテナエンドスコープ (ステイティム 5000)
01-103935	STAT-DRI プレート (数量 5) ステイティム 5000
01-103923	コンデンサ追加ボトル
2OZPLUS	STAT-DRI Plus 2 oz.
8OZPLUST	STAT-DRI Plus 8 oz.
32OZPLUS	STAT-DRI Plus 32 oz.
99-108332	ケミカルエミュレータ (クラス 6) 134°C/3.5分)
01-108341	PCD 最終組立キット

12.1 ステイティム 2000 G4

機械サイズ:	長さ: 幅: 高さ:	49.5 cm 41.5 cm 15 cm
カセットサイズ(外部):	長さ: 幅: 高さ:	41 cm (取っ手含む) 19.5 cm 4 cm
カセットサイズ (内部):	長さ: 幅: 高さ:	28 cm 18 cm 3.5 cm
滅菌チェンバー容量:		1.8 L
貯水タンク容量:		4.0 L
重量(水を除く):		22 kg
必要スペース:		
	上部: 横幅: 背後: 前面:	5 cm 5 cm 5 cm 48 cm
貯水タンクの最低帯電:		550 mL
PRV値 (圧力安全弁):		43.5 PSI
最高動作圧力:		0.31MPa
電気レーティング:		AC 100V, 50/60 Hz, 12A, 1200VA
イーサネットポート:		10/100 Base-T
USB ポート:		USB 2.0
電流:		AC
保護クラス:		I
保護:		覆い
使用温度:		5°C - 40°C
音量:		平均 - 56 dB、ピーク - 65 dB
湿度:		最高80%
最高標高:		2000 m
EMC:		JIS C 1806-1 (現行バージョン)

12.2 ステイティム 5000 G4

機械サイズ:	長さ:	60 cm
	幅:	41 cm
	高さ:	19 cm
カセットサイズ(外部):	長さ:	49.5 cm (取っ手含む)
	幅:	19.5 cm
	高さ:	8 cm
カセットサイズ (内部)**:**	長さ:	38 cm
	幅:	18 cm
	高さ:	7.5 cm
滅菌チェンバー容量:		5.1 L
貯水タンク容量:		4.0 L
重量(水を除く):		34 kg
必要スペース:		
	上部:	5 cm
	横幅:	5 cm
	背後:	5 cm
	前面:	57 cm
貯水タンクの最低帯電:		550 mL
PRV値 (圧力安全弁):		43.5 PSI
最高動作圧力:		0.31MPa
電気レーティング:		AC 100V, 50/60 Hz, 12A, 1200VA
イーサネットポート:		10/100 Base-T
USB ポート:		USB 2.0
電流:		AC
保護クラス:		I
保護:		覆い
使用温度:		5°C - 40°C
音量:		平均 - 57 dB、ピーク - 65 dB
湿度:		最高80%
最高標高:		2000 m
EMC:		JIS C 1806-1 (現行バージョン)